

VI 臨床研修概要

1 経緯

病院の沿革・特徴

昭和2年、伝染病組合病院が川崎市立病院に改称、昭和11年、大規模改築、昭和20年6月1日に総合病院となり、その後建物、設備、診療科の増設を逐次行い、市民の医療の中核を担う病院に発展してきました。

昭和40年、救急指定病院となり、昭和42年には研修医制度が発足しました。それ以降、各学会の指定医の研修施設に指定され、昭和63年には、外国人医師等を対象とした臨床修練指定病院となりました。

また、平成10年4月から総合診療科を設置したことに伴い、新たに後期臨床研修も実施しています。

なお、平成7年から全面改築を進めてきましたが、平成10年11月病棟・中央診療棟が完成し、そして平成12年4月、新外来棟がオープンしたことにより、当院を取り巻く医療環境は、大幅に改善されたばかりでなく、導入された総合医療情報システムや搬送システムが完全に稼動し、機能面でも一段とアップしました。

初期臨床研修

当院の臨床研修制度は、昭和42年4月に発足し、既に40年が経過しています。最初の10年間は研修期間3年のレジデント制度として行われ、昭和52年からは2年間の臨床研修制度となりました。

また、当初の12年間は学制と同じく4月に始まり、3月に終わる制度でありましたが、研修医内定者のうち医師国家試験に不合格となるものがあり、厚生省の指導や欠員を配慮して昭和54年からは6月開始・5月修了に改められました。そして、平成5年に至り医師国家試験の期日が3月に変更されたことに伴い、5月開始・4月修了という新たな制度に生まれ変わりました。

昭和50年度までは単一専門科か専門科と関連する他の1から2科を研修するのみでありましたが、昭和51年度からは専門科に重点を置きながらも、広く各科を研修するローテイト方式を採用してきました。

これは平成16年度から実施された卒後臨床研修制度を先取りしていたものであったといえます。

平成16年5月からは新たな卒後臨床研修制度義務化に伴って、単独型臨床研修病院として初期研修医各学年10名を受け入れ、更に川崎市立井田病院に対する協力型病院として各々2名（当院ローテイトは卒後2年目）を指導しています。

平成22年12月1日に卒後臨床研修評価機構の認定を受けました。

新制度実施後、多数の医学生から応募があるのは、当院がこれまで取り組んできた臨床研修制度が高く評価されたものと自負しつつも更に医療安全管理・倫理面も含めた教育内容を拡充し、優れた臨床医の育成を図りたいと考えています。

(1) 初期臨床研修医年度別 採用者数

年 度	応 募 者	採 用	修 了	備 考
昭和 44	5	3		3年制→2年制度へ移行
45	14	7	3	
46	19	4	2	
47	18	6	8	
48	17	8	4	
49	24	6	3	
50	39	10	7	
51	37	5	5	
52	26	8	5	
53	23	10	11	
54	42	10	11	
55	17	10		
56	12	3	9	
57	9	5	8	
58	4	3	2	
59	11	5	5	
60	11	1	11	
61	9	5	1	
62	6	2		
63	8	2	4	
平成 元	12	8	2	
2	9	6	1	
3	9	7	6	
4	13	10	6	
5	12	7	5	
6	10	9	8	
7	11	11	6	
8	21	10	7	
9	13	6	8	
10	12	9	10	
11	16	9	4	
12	16	11	5	
13	14	10	8	
14	11	10	8	
15	8	7	7	
16	84	10	6	
17	126	9	4	
18	83	9	9	
19	103	10	9	
20	83	9	9	
21	62	10	9	
22	67	10	10	
23	79	10	10	
24	96	10	10	
計	1,321名	330名	266名	

(2) 専修医年度別 採用者数

年 度	応募者数	採 用	備 考
12	12	9	
13	13	12	
14	8	8	
15	10	10	
16	13	10	
17	11	11	
18	13	12	
19	27	25	
20	44	36	
21	38	34	
22	32	29	
23	34	27	
24	38	34	
計	293名	257名	

(3) 初期臨床研修医出身校別採用者数

国・公立大学

私立大学

(平成24年4月1日現在)

出身校	年度							計	出身校	年度							計
	S.42~ H.19	20	21	22	23	24	S.42~ H.19			20	21	22	23	24			
北海道大	4						4	岩手医大	2						2		
札幌医科大	1						1	自治医大	7						7		
旭川医科大					1		1	埼玉医大	3						3		
弘前大	5						5	日本大	4						4		
秋田大	7						7	本医大	2					2	4		
山形大	2						2	順天大	2				1		3		
東北大	2					2	4	慶應義塾大	61	3	3	3	5	2	77		
福島大	1						1	東京医科大	8					1	9		
群馬大	2			1			3	東京女子医大	7			1		1	9		
筑波大	1		1				2	慈恵医大	22	2	1	2	1		28		
千葉大	10	2	1				14	昭和医大	5	1				1	7		
東京大	1					1	1	東邦大	13	1	1				15		
東京医科歯科大	4						4	杏林大	7						7		
横浜市立大	3						3	聖マリアンナ大	14						14		
山梨大	1						1	北里大	5			1			6		
新潟大	3						3	東海大	11		1	1			13		
富山大	2						2	帝京大	1						1		
福井大	1		1				2	藤田保健大	9				1		10		
浜松大	4						4	愛知医科大	2						2		
岐阜大	2						2	関西医科大	3						3		
名古屋大	2						2	大阪医科大	2						2		
名古屋大	3						3	兵庫医科大	1						1		
三重大	3						3	川崎医科大	2						2		
京都大	1						1	産業医科大	5						5		
神戶大	1						1	久留米大	2						2		
岡山大	3						3	金沢大	2						2		
岡山山根大	2				1		2										
島根大	2						2										
徳島大	2						2										
香川大	1						1										
長崎大	3						4										
佐賀大	1		1				1										
熊本大	2						2										
鹿児島大	1						1										
琉球大	2						2										
キングスカレッジ					1		1										
計	85	2	4	2	2	3	98	計	202	7	6	8	8	7	238		

(4) 初期臨床別研修修了者（平成22年度生）

修了年月日	氏名	出身校
平成24年3月31日	三浦孝政	群馬大学
平成24年3月31日	滝沢翼	慶應義塾大学
平成24年3月31日	鈴木悠太	慶應義塾大学
平成24年3月31日	松本達明	慶應義塾大学
平成24年3月31日	毛部川真理	東京女子医科大学
平成24年3月31日	石川尊士	東京慈恵会医科大学
平成24年3月31日	加茂徹郎	東京慈恵会医科大学
平成24年3月31日	鈴木航太	北里大学
平成24年3月31日	林浩正	東海大学
平成24年3月31日	平岡聡	島根大学

< 2年間研修を受けた専修医 > ・高橋貞佳 ・池添亨 ・鮫島由友
 ・福岡聖大 ・黒田葵 ・高井久仁庸

< 1年間研修を受けた専修医 > ・植野華子 ・北菌久雄 ・川澄日出長
 ・伊藤玲奈 ・伊東秀樹 ・渡瀬真梨子

(5) 在籍する初期臨床研修医（平成24年4月1日現在）

2年次生（平成23年度生）		1年次生（平成24年度生）	
氏名	出身校	氏名	出身校
小松田明里	慶應義塾大学	鈴木詔子	東京女子医科大学
濱田祥子	東京慈恵会医科大学	山田万里恵	慶應義塾大学
大伴直央	慶應義塾大学	河内大輔	千葉大学
中村研太	藤田保健衛生大学	赤羽宏基	東北大学
植松敬子	旭川医科大学	森田覚	日本医科大学
中村暢宏	順天堂大学	木村祐美子	東京医科大学
熊谷宜子	慶應義塾大学	田中佑資	東北大学
宮内里沙	慶應義塾大学	倉持智洋	日本医科大学
江原和美	キングスカレッジ	鎌田泰裕	昭和大学
森友季恵	慶應義塾大学	江藤美菜実	慶應義塾大学

(6) 在籍する専修医（平成24年6月1日現在）

4年次生以上			3年次生		
志望科	氏名	出身校	志望科	氏名	出身校
内科	澤野 充明	慶應義塾大学	内科	井上 典子	横浜市立大学
内科	山田 悠史	慶應義塾大学	内科	大河内 緑	日本大学
内科	井上 光子	北里大学	内科	安部 涼平	千葉大学
内科	四枚田 耕平	旭川医科大学	内科	荒井 亮輔	帝京大学
内科	渡邊 真広	浜松医科大学	内科	小野 雄大	北里大学
内科	野口 晃司	東邦大学	内科	山下 奈多子	東邦大学
内科	丹保 公成	北里大学	内科	下園 寛子	久留米大学
内科	柳橋 優	東邦大学	内科	海瀬 綾子	北里大学
内科	水品 研之介	東邦大学	小児科	佐藤 尚栄	日本医科大学
内科	猪狩 雄蔵	北里大学	精神科	三浦 孝政	群馬大学
内科	宮脇 正芳	慶應義塾大学	外科	佐藤 順一朗	杏林大学
内科	落合 萌子	宮崎大学	外科	松田 信作	群馬大学
小児科	石川 真由美	香川大学	麻酔科	増田 香織	東邦大学
精神科	佐々木 裕人	徳島大学	歯科口腔外科	軽部 健史	東北大学
外科	桑原 強	金沢医科大学	検査科	北川 雅浩	東京医科大学
外科	森 一洋	愛媛大学	救急科	大倉 絵里華	産業医科大学
外科	樋口 格	北里大学			
産科	飯田 美穂	慶應義塾大学			
産科	鈴木 毅	福井大学			
婦人科	槁之浦 佳奈	慶應義塾大学			
耳鼻咽喉科	三浦 康士郎	九州大学			
耳鼻咽喉科	坂田 絢子	藤田保健衛生大学			
麻酔科	若宮 里恵	三重大学			
整形外科	森重 雄太郎	川崎医科大学			
救急科	塩島 裕樹	山口大学			
救急科	野口 啓	滋賀医科大学			

2 初期臨床研修医プログラム

(1) 名 称

川崎市立川崎病院初期臨床研修プログラム

(2) 目的と特徴

当院の研修医制度は、昭和42年4月に発足し、その後教育指導部を設置して既に40年以上が経ちますが、この間多数の研修修了者を送り出して来ました。その後、幾度かの変遷を経て、現在では、毎年4月1日に研修開始して、2年後の3月31日に修了する方式を採っています。

ローテイトに当たっては、研修医と十分話し合いを持ち、それぞれに最も適した個別カリキュラムを組んで、限られた期間に充実した研修成果が上がるよう努めています。

また、各科の基礎的診断治療のための技能の習得のみならず、“病気を診るのではなく、悩める病人を診る”という、診療態度の修得やプライマリ・ケアを重視した研修を行っています。

医学の進歩に伴い医療の専門分化・高度化により各臓器疾患の専門医は増加し、これまで治療困難とされた疾患が克服できるようになりました。それに反して患者を全人的に診療できる医師（General Physician）は少なく、“病気のみを診るのではなく悩める病人を診る”ことのできるGeneral Physicianの養成が社会的に求められています。また、本当の意味での専門医はGeneral Physicianとしての素養を身につけた上で、自分の専門分野を追及していくべきと考えます。

そこで当院では、“臓器別専門医である前に、患者全体を診て適切な診療を行う”を基本方針の基に、臨床医としての基礎的臨床能力を養成することを主たる目標にしました。

(3) 指導者と研修施設

ア 指導者と研修プログラム責任者

教育指導部長 玉井 博 修

イ 研修施設

診療各科及び検査科の施設、研究室、会議室

ウ 指導医リスト [医師免許取得後7年以上] (平成24年6月1日現在)

内科	岡野 裕	有馬 功一郎	津村 和	深江 智明
	倉崎 康太郎	田口 博章	西 和男	伊藤 大輔
	高木 英恵	有泉 健	佐山 宏一	樹神 元博
	大森 奈緒	野崎 博之	末吉 浩一郎	玉井 博修
	李 慧崇	古田 晃	難波 貴之	坂本 光男
	中島 由紀子	西澤 健也	井上 健太郎	
精神科	齋藤 寿昭	根本 康		
小児科	安藏 慎	中尾 歩	松岡 恵	檜林 敦
新生児内科	森 和広	古川 律子	梶原 久美子	金 隆根
外科	掛札 敏裕	小柳 和夫	壁島 康郎	星本 相淳
	田中 求	市東 昌也	小野 滋司	
内視鏡室	相浦 浩一			
救命救急センター	田熊 清継	伊藤 壮一	高橋 俊介	郷内 志朗

	大城 健一						
脳神経外科	竹中 信夫	今西 智之					
脳血管外科	片山 真	植田 良					
整形外科	堀内 行雄	小柳 貴裕	森末 光	原藤 健吾			
	金子 康仁	谷川 英徳	大久保 匡	堀内 孝一			
	河野 友祐						
心臓血管外科	田口 眞一						
呼吸器外科	澤藤 誠	神山 育男					
皮膚科	宮川 俊一	田中 京子					
泌尿器科	原 智	小堺 紀英	長谷川 政徳				
産婦人科	林 保良	岩田 壮吉	染谷 健一	村越 行高			
	樋口 隆幸	浅井 哲	金 善恵				
眼科	野崎 なおみ	富田 洋平	鈴木 正子	大場 恵美			
耳鼻咽喉科	相馬 啓子	荒木 康智					
放射線科	成松 芳明	栗林 徹	長谷川 市郎	佐藤 宏朗			
	山本 あゆみ						
麻酔科	増田 純一	日山 敦子	森田 慶久	鈴木 武志			
	永井 美江	菅 規久子	豊永 晋也	増田 祐也			
検査科	杉浦 仁	入江 理恵					
リハビリテーション科	中道 憲明	村岡 香織	伊藤 真梨				
地域医療	宮森 正	狩野 真由美					

エ 専門医（認定医）教育病院等学会の指定状況

外国人医師または歯科医師の臨床修練指定病院	日本医学放射線学会専門医総合修練機関
日本内科学会認定医教育病院	日本腎臓学会認定医研修施設
日本小児科学会専門医研修施設	日本リウマチ学会認定施設
日本外科学会外科専門医制度修練指定施設	日本循環器学会専門医研修施設
日本脳神経外科学会専門医研修施設	日本胸部外科学会教育施設協議会施設
日本整形外科学会専門医研修施設	日本アレルギー学会認定施設
日本皮膚科学会専門医研修施設	日本糖尿病学会認定教育施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設	日本内分泌学会内分泌代謝科専門医認定教育施設
日本周産期・新生児医学会専門医制度指定研修施設	日本核医学会専門医教育病院
日本産婦人科学会認定医卒後研修指導施設	日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設
日本眼科学会専門医研修施設	日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	日本リハビリテーション医学会認定研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院	日本放射線腫瘍学会認定協力施設
日本病理学会専門医研修認定施設	日本神経学会教育関連施設
日本消化器外科専門医認定施設	日本呼吸器内視鏡学会認定施設

日本救急医学会認定指定施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本感染症学会認定研修施設
日本IVR学会専門医修練認定施設	日本臨床細胞学会認定施設
心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設基幹施設	日本精神神経学会精神科専門医研究施設
日本集中治療医学会専門医研修施設	呼吸器外科専門医合同委員会認定修練基幹施設
日本呼吸器学会認定関連施設	日本緩和医療学会認定研修施設

オ 指導体制

各科とも原則としてマンツーマン方式を取れ入れています。

(4) プログラム委員会

本院には、研修管理委員会が設置されており、その委員がプログラム委員を兼務します。

(5) プログラム管理体制

ア 研修管理委員会の組織・機能

(7) 委員長：玉井 博修 教育指導部長

(4) 構成：委員は各研修カリキュラムの責任者、院長、事務局長、副院長、庶務課長、研修協力施設の研修実施責任者（指導医等）、外部委員（医師等）

(ウ) 業 務

a 研修プログラムの全体的な調整・管理

（研修プログラム作成方針の決定や、各研修カリキュラム間の相互調整など）

b 研修医の全体的な管理

（研修医の募集、他施設への出向、研修医の処遇、研修医の健康管理）

c 研修医の研修状況の評価

（研修目標の達成状況の評価、臨床研修修了の評価）

d 採用時における研修希望者の評価

e 指導医の評価と記録

f 研修後の進路について、相談等の支援を行う

g 院内カンファレンス、研修資料と教育機材の管理、指導医研修

イ 研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法

研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法は別途定める要綱によります。研修医は、毎年公募により採用されます。

ウ 研修プログラムの自己評価と改善体制

研修管理委員会では、研修医の研修成果や研修医・指導医の意見を踏まえ、常に研修プログラム自体の評価を行い、修正可能な点は速やかに修正します。また、大きなシステム上の問題は、関係各所と協議の上、適宜改善を行います。

エ 研修医からのフィードバック

研修医は、研修実行委員と定期的に面接を行い、研修プログラムや指導医に対する意見を述べる
ことができます。臨床研修委員会は、できるだけ研修医の要望を実現できるよう配慮します。

オ 研修の継続が困難な研修医に対する処置

身体的・社会的・経済的理由などにより、研修継続が困難な状態に陥った場合は、臨床研修委員
会及び研修責任者は、研修医個人の処遇を勘案し、適切な対応を行うものとします。

(6) 卒後臨床研修・ローテイトについて

ア 期間割り研修医予定配置

1年次の最初の月（4月）は、全員が救急科で研修を行います。厚生労働省の定める内科6
か月、救急科3か月、地域医療1か月を必修科目として計10か月間研修します。選択必修は5科
（外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科）の中から2科を選択し、選択科（内科、外科、
救急科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、放射線科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉
科、泌尿器科、脳神経外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、検査（病理）科、の中か
ら選択）と合わせて計14か月の研修を行います。

選択科目の研修期間は、プログラムの特性を配慮し、最低1か月とします。

選択科目の研修に当たっては、研修医が各研修カリキュラムを選択し、積極的に研修に取り
組み、充実した研修ができるように留意します。

(7) 研修医定員及び処遇

研 修 医 定 員：1年次10名、2年次10名

募集及び採用方法：公募、小論文、面接及び集団討論にて選考、マッチングに参加

資 格：平成25年度日本で医師免許取得見込みの者

処 遇：川崎市非常勤嘱託職員
地方公務員法（以下「地公法」という。）第30条及び第32条から第35条を、
遵守する義務を負う。

待 遇：給与月額 364,100円

健康保険及び公務災害補償あり

レジデントハウス（単身者用）あり

（病院から歩いて10分以内の範囲）

（月額40,200～54,000円程度）

病院個室なし、個人の机及びロッカー有り

定期健康診断年1回

医師賠償責任保険は病院として加入

学会及び研究会への参加は研修に支障のない範囲で可。ただし、公費負担なし

勤 務 時 間：1週5日（月から金まで）

月から金まで：8時30分から17時まで 時間外勤務なし

研修以外の診療活動は認めない（地公法第38条の改正による）

当直は配属科により変わるが、内科の場合に平日当直2日、休日当直1日が
目安である。

年 次 有 給 暇 等：1年につき10日

夏期休暇5日（7月1日から9月30日までの間）

(8) 研修修了認定基準

臨床研修医に関する要綱中、第10条の修了証書の授与に際しては、次の基準によるものとします。

- ア 各研修医は、厚生労働省の指定した初期臨床研修到達目標の自己評価表に基づき、自己採点を行い、研修責任者に提出する。
- イ 研修責任者は、研修管理委員会を開催し、ローテイトした科の指導責任者の採点によるレジデント評価表と研修医が採点した自己評価表を併せて審査し、その結果を院長に報告する。
- ウ 院長は、報告に基づき研修が修了したと認定された研修医に対して、修了証書を授与する。

VII 業績目録

科 別 業

科目	年度	科 別										
		内 科	精 神 科	小 児 科	外 科	呼 吸 器 外 科	脳 神 経 外 科	整 形 外 科	心 臓 血 管 外 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	産 科 ・ 婦 人 科
学 位 取 得	19	1(1)										
	20											
	21						1	1				
	22											
	23											
賞	19							1				
	20											
	21											
	22											
	23											
研 究 助 成 及 び 共 同 研 究	19	1			1							
	20	5			2							
	21	2			2							
	22	2										
	23	2			1							
著 書	19	10						2				
	20	8			1			2				1
	21	14		2	(1)							
	22	5						2				1
	23	5	3	1				4			1	1
刊 行 論 文	19	3		6	2		1	4	1		15	
	20	5		2	5			9	1	4		1
	21	7			5			16	1	5	6	
	22	10	1		6			19				2
	23	3	1		33	1		24			2	3
講 演	19	6		2	13			9			1	
	20	14		1	5			11				9(3)
	21	16		3	5(2)			10				
	22	31	1	1				7				1
	23	32	2	6	2			3			1	8
シ ン ポ ジ ウ ム	19				8							
	20				16			1				
	21				13(1)			1				
	22	1	1			1		2				
	23	2			1							
学 会 発 表	19	37		3	26		8	39		2	5	15
	20	33		5	32		4	20		7		3
	21			4	44(17)		4	24	3	7	3	25
	22	38	1	9	40	10	9	38			3	19
	23	36	5	7	11	8	2	33		3	5	14
マ ス コ ミ 他	19	7						8				
	20				1			8				
	21	8						4				
	22	7	1					9			1	
	23	13	1	2	9		1				1	

績 統 計

眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 科	麻 酔 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	歯 科 口 腔 外 科	検 査 科	薬 剤 科	看 護 部	地 域 医 療 部	救 命 救 急 セ ン タ ー	感 染 対 策 室	食 養 科	合 計
1					1								2(1) 1 2 0 0
1		1											2 0 0 1 0
													2 7 4 2 5
2		2	1	2	1	1				5	1		18 21 18(1) 14 26
1		3	1	2	1	5	2	12		2			64
	2	1	4	1	1	9	1	5					50
2	5	4	4	2	3	5	2	8		4			71
	5		3	1	1	4				7		1	62
			9			12	3			3	2	1	99
	3	4			1					5			44
	4	4			2		3				1	1	55(3)
	4	5	2		2					5		3	55(2)
	1	4	3							3		2	54
		7	5		2					3		2	73
	2	1	1										12
	1	1		1									20
	1					2					1		15(1)
	1		1							1			9
													6
4	8	12	9	2	1	3	5	13		14		1	185
	10	17	10	2	3		1	12		5	1	1	170
	12	25	11	3	4	10	4		1	22	1	1	241(17)
2	6	13	20	3	2	9	3			24			249
	22	15	18	4	1	11	7			20			222
	1	1				1				2			20
													9
	1	3				4	2				3		25
		8	1							6	3		36
		8	5			4				14			58

1 当院における学位取得者

氏名 (所属診療科)	学位取得論文タイトル	掲載学会誌 巻号・年月

2 賞

年 月	表 彰 名	氏 名

3 研究助成及び共同研究

タ イ ト ル	氏 名
1 平成23年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金 若手研究B） 研究課題名：ヒト歯髄幹細胞特異マーカーによる予期的分離と性状解析 補助事業期間：平成23年度～平成24年度	安居孝純
2 平成23年度厚生労働科学特別研究事業 戦略研究の新規課題等に関する研究	津村和大 (分担研究)
3 2型糖尿病性腎症合併高コレステロール血症患者に対するスタチンの有用性の検討（PARTNER研究）（多施設共同研究）	津村和大
4 術後せん妄に対する抑肝散の臨床研究（多施設共同研究）	壁島康郎
5 日本リハビリテーション医学会がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会（厚生労働省研究費補助金第三次対がん総合戦略研究事業）委員	村岡香織

4 著 書

著 者	タ イ ト ル	書名、(著者)、編者	発行所	頁	発表年月
1 水野裕也	精神科臨床倫理	精神科臨床倫理 第4版	星和書店	23章	2011
2 川上宏人	統合失調症～クロザピンによる精神科医療の変化	Medical News	ライフサイエンス社	2058号 4-5	2011.7.25
3 川上宏人	救急に必要な精神的知識と対応	救急・集中治療	総合医学社	24巻1・2号	2012

著者	タイトル	書名、(著者)、編者	発行所	頁	発表年月
4 堀口育子 太田博子 亀山亜希夫 清水谷弘美 長澤恵梨子 金澤美穂	こんだてじまん	臨床栄養2月号	医師薬出版	206-210	2012. 2
5 長谷川政徳 宮嶋 哲	029腎茎がうまく同定 できない	臨床泌尿器科第65巻 第4号 (増刊号)	医学書院	90-2	2011. 4
6 田熊清継	皮膚軟部組織感染症	IDSA ガイドライン -MRSA、河野	医薬ジャーナル社	35-41	2012. 1
7 田熊清継	破傷風	感染症専門医テキスト 第Ⅰ部解説編	日本感染症学会編	1024-1027	2011
8 田熊清継	破傷風	感染症専門医テキスト 第Ⅱ部ケーススタ ディ編	日本感染症学会編	319-323	2011
9 高橋俊介	チーム医療	格段にうまくいく！ 日常診療実践の手技 とコツ、 名郷直樹	羊土社	267-272	2011. 5
10 鬼澤勝弘 安居孝純	誤飲、誤嚥	インプラント修復の 臨床基本手技2 外科インプラント手 術でマスターしたい 50の臨床テクニック	デンタル ダイヤモンド	94-95	2012. 3
11 安藏 慎	日本人小児骨年齢アト ラス 男子 日本人小児骨年齢アト ラス 女子	日本人小児骨年齢ア トラス、日本小児内分 泌学会/日本成長学会 「骨年齢委員会」編集	メディカル レビュー社	9-117	2011. 6
12 坂本光男	発疹チフス	感染症専門医テキス ト 第Ⅰ部解説編	日本感染症学会編	900-1	2011
13 坂本光男	Weil病	感染症専門医テキス ト 第Ⅰ部解説編	日本感染症学会編	1067-9	2011
14 坂本光男	その他 (ライム病、回 帰熱など)	感染症専門医テキス ト 第Ⅰ部解説編	日本感染症学会編	1070-2	2011
15 坂本光男	海外から帰国後に高 熱、呼吸困難、関節痛 にて入院した36歳男性	感染症専門医テキス ト 第Ⅱ部ケースス タディ編	日本感染症学会編	297-302	2011

著者	タイトル	書名、(著者)、編者	発行所	頁	発表年月
16 津村和大	患者さんのQuestion —Q&A・糖尿病の指導— 「糖尿病連携手帳とは？」	肥満と糖尿病, 第10 巻第3号	丹水社	329-331	2011. 5
17 林 保良	子宮鏡下手術 1) 筋腫	必携産婦人科ポケット 手術マニュアル	金原出版 社	189-195	2011. 8. 31
18 佐藤宏朗	顔面のむくみを主訴に 来院した6歳男児	小児科診療 特集 症例に学ぶ:小児放射 線カンファレンス	診断と治 療社	1637-1640	2011. 10. 15
19 佐藤宏朗	急性胃腸炎と診断され たが改善しない1歳6カ 月男児	小児科診療 特集 症例に学ぶ:小児放射 線カンファレンス	診断と治 療社	1737-1741	2011. 10. 15
20 佐藤宏朗	右下腹部痛にて来院し た14歳女児	小児科診療 特集 症例に学ぶ:小児放射 線カンファレンス	診断と治 療社	1805-1809	2011. 10. 15
21 駒場瑠美子	ICTラウンド 看護師の視点	感染対策ICTジャーナ ル	ヴァンメ ディカル	284-287	2011. 7
22 駒場瑠美子	感染対策ズバツと問題 解決ベストアンサー 171 治療・看護行為 別感染対策	INFECTION CONTROL	メディカ 出版	102-116	2011. 11. 10
23 原藤健吾	変形性膝関節症とその 鑑別疾患, 第III章膝関節	X線像で診る下肢, 大谷俊郎	南江堂	102-105	2011. 9
24 原藤健吾 大谷俊郎	膝痛, XII 筋肉・骨格系の異常	総合臨床	永井書店	1248-1252	2011. 5
25 森田晃造 堀内行雄	④肘関節前方アプロー チ	肘関節外科の要点と 盲点	文光堂	22-28	2011. 5
26 森田晃造 堀内行雄	5 手関節・手部の外傷	整形外科 治療と手 術の合併症 起こさ ない対策・起きたとき の対応	金原出版 株式会社	273-276	2011. 4

5 刊 行 論 文

著 者	論 文 名	掲 載 誌			刊 行 年 月
		誌 名	巻(号)	頁	
1 水野裕也	Dopamine D2 Receptor Occupancy with Risperidone or Olanzapine During Maintenance Treatment of Schizophrenia: A Cross-sectional Study	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	37(1)	182-7	2012
2 栗原夕子 奥 佳代 鈴木 厚 大曾根康夫 半田みち子 岡野 裕	緩徐進行性1型糖尿病とミエロペルオキシダーゼ特異的抗好中球細胞質抗体 (MPO-ANCA) 陽性血管炎の経過中に多発性脳神経障害を呈した肥厚性硬膜炎の1例	日本臨床免疫学会誌	34	439-446	2011.12
3 津村和大	糖尿病フットケア最前線:糖尿病足病変のフットケア研修—研修の実際と今後の展望—	プラクティス	第 28 巻 第3号	287-294	2011.5
4 澤藤 誠	術前導入療法を行ったcN2非小細胞肺癌症例の検討	日胸	70	925-930	2011.9
5 望月智弘 市東昌也 掛札敏裕 大森 泰 篠田昌宏 杉浦 仁	肝嚢胞の診断にて経過観察されていた壁外発育型巨大胃GISTの1例	臨床外科	66(4)	518-522	2011.4
6 川久保博文 大森 泰 佐藤靖夫 杉浦 仁 横山 顕	下咽頭表在癌内視鏡治療前の精査法	消化器内視鏡	23(4)	659-668	2011.4
7 泉谷幹子 山岸由幸	5-FU/CDDP併用化学療法にて肝転移が消失し原	癌と化学療法	38(7)	1167-1170	2011.7

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
中村公子 酒井 元 船越信介 足立雅之 樋口 肇 高石官均 杉浦 仁 入江理恵 大森 泰 日比紀文	発巣の内視鏡的切除後 長期無再発生存中の食 道癌の1例				
8 戸澤圭一 玉井博修 井上健太郎 有泉 健 高木英恵 伊藤大輔 鈴木貴博 岡野 裕 秋月哲史 杉浦 仁	腫瘍随伴症候群と考え られる低血糖症状を来 した腹膜中皮腫の1例	日本内科学会雑誌	100(8)	2259-22 62	2011.8
9 Yokoyama A Hirota T Omori T Yokoyama T Kawakubo H Matsui T Mizukami T Mori S Sugiura H Maruyama K	Development of squamous neoplasia in esophageal iodine-unstained lesions and the alcohol and aldehyde dehydrogenase genotypes of Japanese alcoholic men	Int J Cancer	130(12)	3045-30 52	2011.9 (Epub)
10 Akishima -Fukasawa Ishikawa Y Akasaka Y Uzuki Y Inomata M	Histopathological predictors of regional lymph node metastasis at the invasive front in early colorectal cancer	Histopathology	59(3)	470-481	2011.9

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
Yokoo N Ishii T Shimokawa R Mukai R Kiguchi K Suzuki H Fujiwara K Ogata M Niino K Sugiura H Ichinose H Kuroda A Kuroda D Ishii T					
11 Tomita K Teratani T Yokoyama H Suzuki T Irie R Ebinuma H Saito H Hokari R Miura S Hibi T	Plasma free myristic acid proportion is a predictor of nonalcoholic steatohepatitis	Dig Dis Sci	56(12)	3648-3654	2011.12
12 Tomita K Teratani T Yokoyama H Suzuki T Irie R Ebinuma H Saito H Hokari R Miura S Hibi T	Serum immunoglobulin A concentration is an independent predictor of liver fibrosis in nonalcoholic steatohepatitis before the cirrhotic stage	Dig Dis Sci	142(1)	152-164	2012.1
13 Teratani T Tomita K	A high-cholesterol diet exacerbates liver	Gastroenterology			

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
Suzuki T Oshikawa T Yokoyama H Shimamura K Tominaga S Hiroi S Irie R Okada Y Kurihara C Ebinuma H Saito H Hokari R Sugiyama K Kanai T Miura S Hibi T	fibrosis in mice via accumulation of free cholesterol in hepatic stellate cells.				
14 Tomita K Teratani T Yokoyama H Suzuki T Irie R Ebinuma H Saito H Hokari R Miura S Hibi T	Plasma free myristic acid proportion is a predictor of nonalcoholic steatohepatitis	Dig Dis Sci	56(10)	3045-30 52	2011. 10
15 Tomita K Teratani T Yokoyama H Suzuki T Irie R Ebinuma H Saito H Hokari R Miura S Hibi T	Serum immunoglobulin A concentration is an independent predictor of liver fibrosis in nonalcoholic steatohepatitis before the cirrhotic stage	Dig Dis Sci	56(12)	3648-36 54	2011. 12

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
16 Hasegawa M Ohara R Kanao K Nakajima Y	TRANSURETHRAL LITHOTRIPSY WITH HOLMIUM-YAG LASER OF A LARGE EXOGENOUS PROSTATIC CALCULUS.	Urological Research	39(2)	153-5	2011.4
17 Miyajima A Maeda T Hasegawa M Takeda T Ishida M Kosaka T Kikuchi E Nakagawa K Oya M	TRANSUMBILICAL LAPARO-ENDOSCOPIC SINGLE SITE SURGERY FOR ADRENAL CORTICAL ADENOMA INDUCING PRIMARY ALDOSTERONISM: INITIAL EXPERIENCE.	BMC Research Notes	4	364	2011.4
18 Teratani T Tomita K Suzuki T Oshikawa T Yokoyama H, Shimamura K Tominaga S Hiroi S Irie R Okada Y Kurihara C Ebinuma H Saito H Hokari R Sugiyama K Kanai T Miura S Hibi T	A high-cholesterol diet exacerbates liver fibrosis in mice via accumulation of free cholesterol in hepatic stellate cells.	Gastroenterology	142(1)	152-164	2012.1
19 藤塚健次 齋藤 豊 大城健一 高橋俊介	大腿の皮下気腫を伴った膀胱上窩ヘルニア嵌頓・小腸穿孔の1例 (会議録/症例報告)	日本救急医学会 関東地方会雑誌	32	138-139	2011.12

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
郷内志朗 伊藤壮一 二宮 研 市東昌也 田熊清継					
20 泉 史隆 高橋俊介 齋藤 豊 大城健一 郷内志朗 伊藤壮一 田熊清継	外傷性腸腰筋血腫に対しTAEを施行した1例(会議録/症例報告)	日本救急医学会関東地方会雑誌	32	50-51	2011. 12
21 Sasaki J Yamanouchi S Kudo D Endo T Nomura R Takuma K Kushimoto S Shinozawa Y Kishino S Hori S Aikawa N	Micafungin Concentrations in the Plasma and Burn Eschar of Severely Burned Patients	Antimicrobial Agents and Chemotherapy	56(2)	1113 - 1115	2011. 11
22 春日義史 浅井 哲 黒田恵子 藪野 彰 松岡智史 金 善恵 樋口隆幸 村越行高 中田さくら 染谷健一 林 保良 岩田壮吉	IUFDを伴った常位胎盤早期剥離に経膣分娩を選択した1例	日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌	48 (1)	2-4	2011. 7
23 藪野 彰	腹腔鏡手術後に悪性甲	日本産科婦人科学会神	48 (1)	36-39	2011. 7

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
浅井 哲 黒田恵子 春日義史 松岡智史 金 善恵 樋口隆幸 村越行高 中田さくら 染谷健一 岩田壮吉 林 保良	状腺カルチノイドと診断された1例	奈川地方部会誌			
24 樋口隆幸 黒田恵子 金 善恵 原田敏子 長澤聖子 中原 淳 岩田壮吉	若年妊娠とその管理	産婦人科治療	103(4)	389-392	2011.10
25 土井賢治 坂本光男	抗菌薬関連性腸炎	感染と抗菌薬	15	93-8	2012
26 Aiura K Shinoda M Nishiyama R	Surgical technique for complete resection of the extrahepatic portion of the common bile duct and the ampulla of Vater for tumors of the ampulla of Vater.	J. Hepatobiliary Pancreat Sci	18	276-81	2011
27 Aiura K Kitagawa Y	Current status of endoscopic papillary balloon dilation for the treatment of bile duct stones.	J. Hepatobiliary Pancreat Sci	18	339-45	2011
28 Matsuura Y Yagi H Matsuda S	Human liver-specific nanocarrier in a novel mouse xenograft model	Eur Surg Res	46	65-72	2011

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
Itano O Aiura K Kuroda S Ueda M Kitagawa Y	bearing noncancerous human liver tissue.				
29 相浦浩一 北郷 実 真杉洋平 坂元亨宇 北川雄光	膵癌 術前療法	臨床外科	66	209-17	2011
30 上野彰久 奥田茂男 谷本伸弘 倉上康二 大島 剛 相浦浩一 田邊 稔 真杉洋平 木村徳宏	膵内副脾に発生した Epidermoidの1例	胆と膵	32	566-9	2011
31 西山 亮 相浦浩一 北郷 実 篠田昌宏 板野 理 河地茂行 田邊 稔 上田政和 真杉洋平 坂元亨宇 北川雄光	術前化学放射線療法後 膵頭十二指腸切除術を 施行し、長期生存を認め た腹膜播種によるStage IVb膵頭部癌の1例	膵臓	27	62-8	2012
32 壁島康郎他	腹腔鏡下大腸癌手術を 安全に行うための solo-surgeryに近い手 術手技	手術	65	1169-11 75	2011.7
33 壁島康郎他	結腸癌手術症例に対す るfast-track surgery:	Prog Med	31	470-471	

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
	大建中湯を用いたクリニカルパスの有用性				
34 Shibutani S Obara H Ono S Kakefuda T Kitagawa Y	Complete removal of infected abdominal aortic stent-graft with suprarenal fixation.	Ann Vasc Surg	25	980. e7-10	2011. 10
35 Shibutani S Obara H Ono S Kabeshima Y Kawakubo Y Shito M Kakefuda T Omori T Sato H Narimatsu Y Kitagawa Y	Dieulafoy lesion in the ileum of a child: a case report.	J Pediatr Surg	46	e17-9	2011. 5
36 池添亨 市東昌也 掛札敏裕 入江理恵 杉浦仁	術前診断が困難であった肝腫瘍の1例	神奈川医学会雑誌	39	90-91	2012. 1. 1
37 高橋貞佳 市東昌也 神山育男 澤藤誠 相浦浩一 掛札敏裕	肺癌術後胆嚢転移の1切除例	神奈川医学会雑誌	39	83	2012. 1. 1
38 小柳和夫 平岩訓彦 市東昌也 相浦浩一 掛札敏裕 川久保博文 大森泰	当院における根治的化学放射線療法後の食道癌サルベージ手術例の検討	日本外科学会雑誌	113	613	H2012. 3. 5

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
39 平岩訓彦 小柳和夫 壁島康郎 佐藤知美 掛札敏裕 相浦浩一 市東昌也 渋谷慎太郎 小野滋司 川久保博文 大森泰	食道癌根治切除後長期生存例における異時性重複癌	日本外科学会雑誌	113	616	2012. 3. 5
40 市東昌也 相浦浩一 掛札敏裕	臍頭十二指腸切除術後の短期・長期合併症に対する防止対策	日本外科学会雑誌	113	564	2012. 3. 5
41 壁島康郎 掛札敏裕 杉浦仁	直腸筋膜(rectal fascia)を重視したより安全な腹腔鏡下直腸切除術	日本外科学会雑誌	113	462	2012. 3. 5
42 小野滋司 渋谷慎太郎 掛札敏裕	膝窩動脈外膜嚢腫の手術例 -外膜切開術(嚢腫開放術)を施行した2例-	血管外科	30	136-137	2011. 11. 2 1
43 小柳和夫 平岩訓彦 掛札敏裕 田淵 悟 小山 勇	食道胃接合部癌に対するリンパ節郭清の検討	日本臨床外科学会雑誌	72	500	2011. 10. 2 0
44 壁島康郎 平岩訓彦 小柳和夫 市東昌也 相浦浩一 掛札敏裕	腹腔鏡下進行大腸手術をsolo-surgeryで安全に行うことが可能な手術手技	日本臨床外科学会雑誌	72	417	2011. 10. 2 0
45 掛札敏裕	基本的手術手技 血管縫合・吻合の基本	救急医学	35	962-966	2011. 8. 10
46 小柳和夫	食道表在癌の進行度診	日本癌治療学会誌	46	589	2011. 9. 13

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
川久保博文 平岩訓彦 掛札敏裕 田淵 悟 小山 勇 永田耕治	断におけるFDG-PET/CT の意義				
47 壁島康郎 武居友子 大平正典 小野滋司 平岩訓彦 渋谷慎太郎 川久保博文 市東昌也 掛札敏裕 大森 泰	大腸がん鏡視下手術の 標準化 市中病院で腹腔鏡下進 行大腸癌手術を安全に 行うための標準手術手 技	癌の臨床	56	663-669	2011. 6. 27
48 松原健太郎 尾原秀明 一坂俊介 藤井 琢 関本康人 筒井りな 宮国泰彦 北川雄光 掛札敏裕 渋谷慎太郎 小野滋司 内田智夫 藤村直樹 原田裕久	Challenging neck症例 に対するEVAR中樞側留 置手技の工夫 -最新技術の標準化を目 指して-	脈管学	51	S71	2011. 9. 22
49 大平正典 市東昌也 川久保博文 掛札敏裕	臍頭十二指腸切除術に おけるクリニカルパス	日本外科学会雑誌	112	554	2011. 5. 25
50 市東昌也 大平正典	臍頭十二指腸切除術に おける臍空腸吻合合法	日本外科学会雑誌	112	556	2011. 5. 25

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
掛札敏裕	-合併症ゼロを目指して				
51 松原健太郎 尾原秀明 一坂俊介 庄司高裕 藤井 琢 北川雄光 掛札敏裕 渋谷慎太郎 小野滋司 内田智夫 朝見淳規 長崎和仁 原田裕久 林 忍 藤村直樹	慢性透析患者の腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の治療成績	日本外科学会雑誌	112	829	2011. 5. 25
52 壁島康郎 大森 泰 掛札敏裕 市東昌也 川久保博文 渋谷慎太郎 平岩訓彦 小野滋司	左側結腸の生理学的特徴を重視した縫合不全の少ない低位前方切除術	日本外科学会雑誌	112	487	2011. 5. 25
53 尾原秀明 松原健太郎 一坂俊介 藤井 琢 庄司高裕 北川雄光 掛札敏裕 渋谷慎太郎 小野滋司 内田智夫 朝見淳規 長崎和仁	腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の遠隔成績と術前危険因子の検討	日本外科学会雑誌	112	240	2011. 5. 25

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
原田裕久 林 忍 藤村直樹					
54 渋谷慎太郎 小野滋司 掛札敏裕 塚田紀理 神山育男 澤藤 誠	強皮症による手指・足趾潰瘍に対し胸部交感神経節切除および血管内治療が奏功した1例	日本血管外科学会雑誌	20	592	2011. 4. 7
55 原田裕久 松井淳一 原田裕久 尾原秀明 松原健太郎 北川雄光 渋谷慎太郎 小野滋司 掛札敏裕 藤村直樹 内田智夫	腹部大動脈瘤 challenging neck症例に対するステントグラフト中枢側留置手技の工夫	日本血管外科学会雑誌	20	267	2011. 4. 7
56 尾原秀明 松原健太郎 一坂俊介 庄司高裕 藤井 琢 北川雄光 掛札敏裕 渋谷慎太郎 小野滋司 内田智夫 朝見淳規 長崎和仁 林 忍 藤村直樹 原田裕久	腎動脈下大動脈に高度粥状硬化病変を有する腹部大動脈瘤の治療成績-EVARと開腹術の現状	日本血管外科学会雑誌	20	223	2011. 4. 7
57 大平正典	臍頭十二指腸切除術後	胆と臍	32	345-348	2011. 4. 15

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
市東昌也 掛札敏裕	胆管空腸吻合部に良性狭窄を生じた2例				
58 望月智弘 市東昌也 掛札敏裕 大森泰 篠田昌宏 杉浦仁	肝嚢胞の診断にて経過観察されていた壁外発育型巨大胃GISTの1例	臨床外科	66	518-522	2011. 4. 20
59 荒木康智 佐藤靖夫	【環境・生活習慣(病)・スポーツと耳鼻咽喉科】生活習慣(病)と耳鼻咽喉科疾患 飲酒	JOHN	27(12)	1879-1884	2011. 12
60 當山峰道 大高洋平 荒木康智	脳卒中患者における自覚的視性垂直位と静止立位時バランスとの関連	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	48(4)	263-269	2011. 4
61 國弘幸伸 相馬啓子	めまいの新しい疾患概念 脳脊髄液減少症 その臨床像と診断・治療法	Equilibrium Research	70(3)	176-188	2011. 6
62 佐藤靖夫 荒木康智 富永健裕	咽喉頭癌に対する経口的切除術 咽喉頭癌に対するELPS 鏡視下経口的手術用練習モデルを用いたELPSトレーニングの試み	頭頸部癌	37(4)	514-519	2011. 12
63 國弘幸伸 相馬啓子	鬱患者に発症した脳脊髄液減少症の1例	Equilibrium Research	70(6)	489-496	2011. 12
64 鈴木武志 芹田良平 森崎 浩	敗血症における心機能障害～心筋保護とβ遮断薬の可能性	日本集中治療医学会雑誌	18	193-200	2011. 4
65 高山 渉 増田純一	あたらしい電子麻酔記録・手術部門システム CIS-ORの自動更新型リアルタイムスケジュール機能についての報告	神奈川医学会雑誌	38(2)	272	2011. 7
66 塚田紀理	緩和ケアチームラウン	川崎市医師会医学会誌	28	85-88	2011. 9

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
増田純一 日山敦子 川上宏人 千島美奈子 石井真紀	ド導入後のオピオイド 使用状況の変化				
67 鈴木武志 森崎 浩 武田純三	短時間作用型βブロッ カーと頻脈性不整脈	ICUとCCU	35	791-795	2011. 10
68 Hanaue M Miwa N	Aging of Oocyte-Coating Structures and Dicalcin	Journal of Mammalian Ova Research	28	Issue 3p, 110-117	2011
69 高山 渉 小林 佳郎 落合 亮一	大動脈弓部置換手術中 の低体温循環停止に起 因する可逆的血小板減 少	東邦医学会雑誌	59(1)	2-8	2012. 1
70 Hanaue M Miwa N Takamatsu K	Immunohistochemical Characterization of S100A6 in the Murine Ovary	Acta Histochem Cytochem	45(1)	9-14	2012. 2
71 高山 渉	バトルオンセミナー生 体情報モニター◇Solar 8000i：急性期部門で活 躍する高性能ベッドサ イドモニター	Lisa 2012年2月号 —麻酔を核とした総合 誌 [リサ] —	19(2)	166-169	2012. 2
72 Hanaue M Miwa N Uebi T Fukuda Y Katagiri Y Takamatu K	Characterization of S100A11, a suppressive factor of fertilization, in the mouse female reproductive tract	Mol Reprod Dev.	78(2)	91-103	2011. 2
73 湧井宣行 小林 岳 早川和宏 三井みゆき	小児粉碎薬における医 薬品含有量および損失 の評価	医療薬学	37(7)	425-430	2011. 7
74 矢野裕一	川崎市立川崎病院にお	全国自治体病院協議会	50(8)	87-90	2011. 8

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
	けるSPD導入のよる薬剤業務の新たな展開	雑誌			
75 矢野裕一	薬学教育6年制に思う	薬事新報	(2717)	31	2011. 1. 19
76 原藤健吾	変形性膝関節症患者の運動器不安定症に関与する因子はなにか?	JOSKAS		452-456	2011. 6
77 森重雄太郎 原藤健吾	脛腓間の脱臼を伴う足関節脱臼骨折の治療経験	関東整形災害外科学会雑誌		76	2012. 3
78 金子陽介 原藤健吾	小児に距骨外側突起骨折を生じた1例	神奈川整形災害外科研究会雑誌		34	2011. 10
79 飯田智絵 原藤健吾	膝前十字靭帯損傷患者におけるScrew Home Movementの検討	理学療法学		275	2011. 4
80 櫻井愛子 原藤健吾	足部の位置が運動時における脛骨の動きに与える影響 前十字靭帯(ACL)損傷側、非損傷側、健常者による比較	理学療法学		70	2011. 4
81 工藤 優 原藤健吾	前十字靭帯(ACL)損傷患者における歩行動作中の脛骨内旋運動に関する検討	理学療法学		75	2011. 4
82 砂田尚架 原藤健吾	前十字靭帯(ACL)損傷患者のスクワット動作における対称性の検討	理学療法学		73	2011. 4
83 尾崎正大 原藤健吾	後期高齢者頸椎症性脊髄症に対する脊柱管拡大術の手術成績	関東整形災害外科学会雑誌		135	2011. 4
84 Ochi K Horiuchi Y Nakamichi N et al	Association between the elbow flexion test and extraneural pressure inside the Cubital Tunnel	J Hand Surg Am	36A(2)	216-221	2011. 2
85 Ochi K Horiuchi Y	Comparison of shoulder internal rotation test	J Hand Surg Am	36A(5)	782-787	2011. 5

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
Tanabe A et al	with the elbow flexion test in the diagnosis of cubital tunnel syndrome.				
86 越智健介 堀内行雄	複合性局所疼痛症候群 (CRPS)	脊椎脊髄ジャーナル	24(5)	550-556	2011.5
87 Ochi K Horiuchi Y Seki M Nishi K Nozaki H et al	Polyarthritis and posterior interosseous nerve palsy with gastric carcinoma	Rheumatol Int			published on line 2011.7
88 Ochi K Horiuchi Y et al	Distal radius fracture after Sauve-Kapandji procedure in a reumatoid arthritis patient	Mod Rheumatol		290-294	2011.6
89 堀内行雄	トピックス 複合性局 所疼痛症候群 (CRP S)	CLINICIAN	58(604)	124-130	2011.12.1
90 森田晃造 堀内行雄 中道憲明 越智健介	上腕骨遠位端骨折に対 するLCP Distal Humerus Plateの使用経験	日本肘関節学会雑誌	18(2)	121-123	2011.11
91 森田 亘 森田晃造 堀内行雄 ほか	成人の上腕骨内側上顆 単独骨折の1例	日本肘関節学会雑誌	18(2)	97-99	2011.11
92 森田晃造 堀内行雄 岩部昌平	橈骨遠位端関節内骨折 に対するpolyaxial lockin plateの使用経 験	骨折	33(4)	769-772	2011.12
93 越智健介 堀内行雄 森田晃造 ほか	肘部管症候群患者にお ける尺骨神経の伸張度 一神経剥離術の効果一	Peripheral Nerve 末梢神経	22(2)	202-203	2011

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
94 越智健介 堀内行雄 森田晃造 ほか	長母指伸筋腱を切離し ない母指伸展機能再建 術の試み	Peripheral Nerve 末梢神経	22(2)	179-182	2011
95 Ochi K Horiuchi Y et al	Fascicular constrictions in patients with spontaneous palsy of the anterior interosseous nerve and the posterior interosseous nerve.	J Plast Surg Hand Surg	46	19-24	2012
96 Ochi K Horiuchi Y Tanabe A et al	Shoulder internal rotation elbow flexion test for diagnosing cubital tunnel syndrome.	J Shoulder Elbow Surg	21(6)	777-781	2012
97 森田晃造 堀内行雄 越智健介 ほか	橈骨遠位端骨折に対す る掌側ロッキングプレ ート固定術後抜釘時所 見の検討 ー合併症回 避のためにー	日手会誌	28(6)	586-589	2012
98 堀内行雄	複合性局所疼痛症候群 (CRPS) の診断と治療の ポイント	整形外科	63(4)	363-369	2012
99 Ochi K Horiuchi Y Morisue H et al	Association between the disease severity and extraneural pressure induced by maximum elbow flexion in cubital tunnel syndrome patients	J Plast Surg Hand Surg			in press

6 講 演

演 題	演 者	学 会	発表年月
1 多飲症。水中毒について学ぶ	川 上 宏 人	多飲症。水中毒について学ぶ会	2011. 11. 4
2 「気持ちのつらさ」「せん妄」	齋 藤 寿 昭	日本緩和医療研修会 (於川崎市立川崎病院)	2012. 1. 14
3 東日本大震災発生時の対応と今後に向けた取り組み	清水谷弘美	川崎市栄養士研修会	2012. 1. 26
4 教育講演『栄養士の立場から』	亀山亜季夫	第13回神奈川県糖尿病療養指導研究会研修会	2012. 2. 5
5 腎細胞癌最新の動向	原 智	神奈川県薬剤師会 がん専門薬剤師セミナー	2011. 04. 26
6 救急医の業務と川崎市立川崎病院の救急受け入れ体制について	田 熊 清 継	川崎市川崎区医師会2012年2月 第43回 ミート・ザ・スペシャリスト	2012. 2
7 救急医療の最近の見知	伊 藤 壮 一	川崎市川崎区医師会2012年2月 第43回 ミート・ザ・スペシャリスト	2012. 2
8 救命救急センターで出会う糖尿病患者	伊 藤 壮 一	第37回 明日からの実践に役立つ糖尿病セミナー	2012. 10
9 開業医のための“智歯の抜歯”	鬼 澤 勝 弘	第14回川崎病院症例検討会	2011. 11. 2
10 開業医のための“嚢胞”	鬼 澤 勝 弘	第15回川崎病院症例検討会	2011. 12. 16
11 Difficult hysteroscopic Surgery-techniques and cares	Bao-Liang Lin	5th China-Australia-Asia Pacific Forum for Minimally Invasive Gynecology and 20 years anniversary of hysteroscopic developments in China, 1991-2011	2011. 5
12 不妊症と子宮鏡の応用	林 保 良	第10回生殖バイオロジー東京シンポジウム	2011. 7
13 子宮鏡の器具の特性と合併症 Instrumentations and complications of hysteroscopy	林 保 良	第51回日本産科婦人科内視鏡学会教育セミナー	2011. 8
14 Recent Advances in diagnostic and operative hysteroscopy	Bao-Liang Lin	2011アジア太平洋婦人科内視鏡学会地域学会 (APAGE)	2011. 9
15 Hysteroscopic management of intrauterine diseases for infertile patients	Bao-Liang Lin	SRRSH 6th Academic Week	2011. 10

演 題	演 者	学 会	発表年月
16 中隔子宮に対する子宮鏡下子宮形成術の工夫	林 保 良	第34回日本産婦人科手術学会	2011. 11
17 Removal of Endometrial Polyps through a Small Caliber Diagnostic Flexible Hysteroscope using a Lin Polyp Snare System	Bao-Liang Lin	2011アジア太平洋婦人科内視鏡学総会 (APAGE)	2011. 12
18 Hysteroscopy and intrauterine neoplasms	Bao-Liang Lin	2012 APAGE International workshop on animal hands-on Lab. in shanghai, ovarian cancer with hysteroscopy workshop	2012. 3
19 経カテーテル的大動脈弁治療	古 田 晃	第5回大宮・彩の国Endovascular-Surgery研究会	2011. 5. 13
20 Transcatheter Aortic Valve Implantation -Where Are We Now?-	古 田 晃	第一回大分TAVI研究会	2011. 7. 21
21 経カテーテル的大動脈弁治療の最前線	古 田 晃	第13回上越心血管懇話会	2011. 8. 19
22 経皮的大動脈弁置換術：最新情勢と展望	古 田 晃	川崎市医師会関連研究会 -循環器疾患の地域連携-	2011. 10. 27
23 Transcatheter Aortic Valve Therapy -Where Are We Now?-	古 田 晃	第9回京都循環器先進医療フォーラム	2011. 10. 31
24 Transcatheter Aortic Valve Therapy -病態に応じた治療の重要性-	古 田 晃	第24回RC21研究会	2011. 11. 4
25 重症大動脈弁治療の新たな展開 -経カテーテル大動脈弁埋込み術 (TAVI) の時代を迎えて-	古 田 晃	Kawasaki Heart Forum	2011. 12. 6
26 Transcatheter Aortic Valve Replacement - Bridge Therapy の新しい役割 -	古 田 晃	Kawasaki Circulation Club	2012. 2. 3
27 糖尿病診療の最新事情	津 村 和 大	糖友会平成23年度総会	2011. 4
28 代謝疾患・その他の疾患	津 村 和 大	日本病態栄養学会平成23年度教育セミナー	2011. 5
29 糖尿病足病変の病態と治療 ～指導者としての心得～	津 村 和 大	平成23年度第1回糖尿病足病変の指導者研修	2011. 6
30 糖尿病の薬物治療 ～医師の臨床判断について～	津 村 和 大	医薬連携講演会	2011. 6

演 題	演 者	学 会	発表年月
31 時代とともに変わる糖尿病治療	津 村 和 大	神奈川県糖尿病協会研修	2011. 6
32 糖尿病診療における節目 ～医療連携の視点から～	津 村 和 大	Kawasaki Partnership Conference	2011. 6
33 これからの糖尿病治療を考える	津 村 和 大	E-Quality Forum	2011. 6
34 糖尿病医療連携 ～川崎市における試み～	津 村 和 大	第2回川崎市糖尿病診療を考える会	2011. 7
35 糖尿病地域医療連携 ～当院における最近の取り組みから～	津 村 和 大	第6回神奈川糖尿病治療講演会	2011. 8
36 最新の食後高血糖の治療意義	津 村 和 大	川崎市糖尿病ネットワーク	2011. 8
37 糖尿病足病変の病態と治療 ～指としての心得～	津 村 和 大	平成23年度第2回糖尿病足病変の指導者研修	2011. 9
38 糖尿病の薬物治療 ～医師の臨床判断について～	津 村 和 大	医薬連携講演会	2011. 9
39 これからの糖尿病医療連携	津 村 和 大	川崎糖尿病UP DATE	2011. 10
40 糖尿病の救急医療で求められる診療連携とチーム医療	津 村 和 大	第37回明日からの実践に役立つ川崎市糖尿病セミナー	2011. 10
41 医療連携の将来像と薬剤師への期待 ～糖尿病医療連携の現場から～	津 村 和 大	川崎市薬剤師会在宅医療研修会	2011. 10
42 医薬情報担当者に求められる医療経済学的視点	津 村 和 大	医薬連携講演会	2011. 11
43 糖尿病足病変の病態と治療 ～指導者としての心得～	津 村 和 大	平成23年度第3回糖尿病足病変の指導者研修	2011. 12
44 糖尿病療養指導の現場に必要なインクレチンの基礎知識	津 村 和 大	川崎糖尿病診療連携講座	2011. 12
45 市民向け糖尿病啓発活動の実際 ～神奈川県における取り組み～	津 村 和 大	東京臨床糖尿病医会第134回例会	2012. 1
46 糖尿病治療の基礎知識	津 村 和 大	医薬連携講演会	2012. 2
47 糖尿病足病変の病態と治療 ～指導者としての心得～	津 村 和 大	平成23年度第4回糖尿病足病変の指導者研修	2012. 3
48 足を守ろう！ 知っておくべき足病変の基礎知識	津 村 和 大	フットケアキャラバンin神奈川	2012. 3
49 糖尿病診療スタッフに対する教育を考える	津 村 和 大	第7回神奈川糖尿病治療講演会	2012. 3
50 今どきの子どもの性成熟-お子さんのからだの成熟に気を付けていますか？	安 藏 慎	第10回川崎市子ども健康フォーラム	2011. 6

演 題	演 者	学 会	発表年月
51 症例と画像から学ぶ小児救急疾患の基礎知識	冨田健太郎	第17回川崎画像診断読影講座	2011. 7
52 単純部分発作から二次性全般化へと増悪を呈したてんかんに対するレベチラセタムの使用経験	坂口友理	第3回Kawasaki Epilepsy Network講演会	2011. 7
53 小児の気道感染症に対する経口抗菌化療法	中尾 歩	第258回川崎市小児科医会学術研究会	2011. 9
54 骨年齢判定入門	安藏 慎	名古屋大学新生児グループ骨年齢アトラス勉強会	2011. 10
55 成長ホルモン治療が適応となる低身長児の鑑別と治療	安藏 慎	「内分泌異常のやさしい診かた」談話会	2011. 11
56 脳卒中にならないために	野崎博之	脳卒中市民公開講座	2011. 6. 12
57 膝・胆道内視鏡の実際	相浦浩一	第42回ミート・ザ・スペシャリスト平成23年度川崎区医師会合同常会	2012. 11
58 大腸癌は怖くない お腹を切って癌を治す	壁島康郎	市民公開講座 かながわ健康セミナー2011 in 川崎	2012. 1
59 がん性疼痛突出痛の緩和治療の現状と アクリル製剤の可能性	増田純一	川崎南部がん性疼痛緩和フォーラム川崎	2011. 6. 21
60 バトルオンセミナー「生体情報モニター」	高山 渉	第8回麻酔科学サマーセミナー	2011. 6. 24
61 歯科麻酔科医を育てる医科研修 (医科麻酔専門医からの提言)	増田純一	第39回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 神戸	2011. 10. 9
62 女性のヘルスアップセミナー	永井美江	綾瀬市平成23年度ヘルスアップセミナー	2012. 3. 12
63 日本におけるオピオイド使用の歴史と 展望	増田純一	第11回神奈川県緩和医療研究会 横浜	2012. 3. 17
64 MRIによる肺癌のStaging	長谷川市郎	第44回埼玉呼吸器セミナー	2011. 9
65 福島県 放射線サーベイヤーの活動に 参加して	三嶽秀介	川崎市病院看護部長会研修会	2011. 6
66 放射線・放射能を正しく理解するために	小野欽也	川崎市病院看護部長会研修会	2011. 6
67 警戒区域一時立入の現場対応	小野欽也	神奈川核医学研究会	2011. 7
68 放射線のこと、勉強しませんか？	小野欽也	日本放射線技師会レントゲン週間イベント	2011. 11

演 題	演 者	学 会	発表年月
69 放射能ってなに？ ～正しい知識を身につけよう～	小野 欽也	自治労神奈川県本有衛生医療評議会 病院部学習会	2011. 11
70 警戒区域一時立入の現場対応	小野 欽也	川崎市商工会議所講演会	2011. 11
71 100歳までがんばる人にロコモ体操の すすめ	堀内 行雄	川崎市商工会議所	2011. 5. 27
72 CRPSの診断と治療	堀内 行雄	宮城県整形外科勤務医会学術講演会	2011. 7. 30
73 スポーツと健康 整形外科疾患を中心に	堀内 行雄	平成23年度川崎市医師会健康スポー ツ医学講座	2011. 11. 19

7 シンポジウム

演 題	演 者	学 会	発表年月
1 外科感染症教育の創造と変革 Surviving Sepsis Campaign(SSC) Guidelines 日本救急医学会 (JAAM)sepsis疫学データ集積研究 (JAAM-SR)を利用したsepsis患者に対 する抗菌薬投与法の教育(会議録)	田熊 清継 大城 健一 石垣 孝司 春成 学 進藤 健 近藤 英樹 権守 智 竹村 成秀 齋藤 豊 郷内 志朗 高橋 俊介 伊藤 壮一	第24回日本外科感染症学会総 会	2011. 12
2 経皮的弁置換術の最前線 -開発の経緯から国内での可能性-	古田 晃	CVIT第25回東海北陸地方会 シンポジウム	2011. 5. 20
3 BAV bridging to EVAR	古田 晃	第2回 大阪Transcatheter Cardiovascular Therapy Symposium	2011. 8. 27
4 膵癌術後再発形式からみた門注補助化 学療法の意義	相浦 浩一	第23回日本肝胆膵外科学会	2011. 6
5 外傷と感覚器障害 外傷後の味覚障害、 機能性難聴と高次脳機能障害について	相馬 啓子	第59回職業・災害医学会	2011. 11. 12
6 計画停電アンケート報告 シンポジウム —計画停電、緊急停電への備え—	増田 純一	日本麻酔科学会第58回学術集 会 神戸	2011. 5. 21

8 学 会 発 表

演 題	演 者	学 会	発表年月
1 甲状腺乳頭癌を合併した頭部脂腺癌の一例	栗原 佑一 田中 京子 宮川 俊一 藤尾 由美	第63回日本皮膚科学会 西部支部学術大会	2011. 10. 8
2 Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm(BPDCN)の一例	栗原 佑一 田中 京子 宮川 俊一 福岡 聖大 入江 理恵	日本皮膚科学会 第840回東京地方会	2011. 12. 17
3 汎発型限局性強皮症の一例	栗原 佑一 田中 京子 宮川 俊一 早川 和人	第75回日本皮膚科学会 東京支部学術大会	2012. 2. 19
4 Dopamine D2 receptor occupancy with risperidone or olanzapine needed for the maintenance treatment of Schizophrenia: A Cross-sectional Study	水野 裕也	3rd European Conference on Schizophrenia Research , Berlin	2011
5 自殺企図後の患者に対する薬物療法： 診療録調査	水野 裕也 川上 宏人 齋藤 寿昭	第19回日本精神科救急学会	2011
6 内因性うつ病と反応性うつ病で診療内容は異なるか 1 薬物療法 精神療法	水野 裕也 高橋達一郎	第107回日本精神神経学会学術総会、東京	2011
7 内因性うつ病と反応性うつ病で診療内容は異なるか 2 病名告知 環境調整	水野 裕也 高橋達一郎	第107回日本精神神経学会学術総会、東京	2011
8 重篤な自殺企図に及んだ精神科未治療患者の特徴	水野 裕也 猪飼紗恵子 齋藤 寿昭	第31回社会精神医学会、東京	2011
9 気道病変先行型再発性多発軟骨炎の一例	滝沢 翼 田口 博章 西 和男 小熊 剛 鈴木 貴博	第52回関東リウマチ研究会	2011. 6

演 題	演 者	学 会	発表年月
	荒木 康智 入江 理恵 杉浦 仁 岡野 裕		
10 関節に骨髄浮腫と骨侵食のMRI像を認めたRS3PE症候群の1例	田口 博章 星山 隆行 西 和男 鈴木 貴博 岡野 裕 秋月 哲史	第55回日本リウマチ学会総会・ 学術集会	2011. 7
11 タクロリムスで寛解導入もしくは寛解維持ができた初発ループス腎炎 (WHO IV型) 5症例	西 和男 田口 博章 星山 隆行 鈴木 貴博 岡野 裕 秋月 哲史	第55回日本リウマチ学会総会・ 学術集会	2011. 7
12 C型慢性肝炎に対するインターフェロン治療中に発症した膜性腎症の1例	濱田 祥子 井上健太郎 西 和男 有泉 健 高木 英恵 玉井 博修 伊藤 大輔 鈴木 貴博 岡野 裕 秋月 哲史	第581回日本内科学会関東地方 会	2011. 9
13 Founder mutationの可能性が示唆された多発性内分泌腺腫症1型 (MEN1) の1例	井上 光子 津村 和 大 高井久仁庸 倉崎康太郎 伊藤 大輔 有馬功一郎 岡野 裕 澤藤 誠 杉浦 仁 新井 正美	第582回日本内科学会関東地方 会	2011. 10
14 芽球型形質細胞様樹状細胞腫瘍の診断	福岡 聖大	第583回日本内科学会関東地方	2011. 11

演 題	演 者	学 会	発表年月
と治療	鈴木貴博 岡野 裕 秋月哲史 入江理恵 宮川義隆 杉浦 仁	会	
15 インフリキシマブが間質性肺炎発症の 誘因と考えられた関節リウマチの1例	加茂 徹郎 西 和夫 天野雄一郎 田口博章 鈴木貴博 岡野 裕 秋月哲史	第47回神奈川内科集談会	2011.11
16 慢性副鼻腔炎から髄膜炎、下垂体膿瘍、 脳膿瘍をきたした1例	野口 晃司 坂本光男 中島由紀子 野崎博之 鈴木貴博 秋月哲史	第48回神奈川内科集談会	2011.11
17 Insight into Balloon Aortic Valvuloplasty as a Bridge Therapy in High-risk Aortic Stenosis: Subsequent-AVR or Direct-AVR?	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B Godin M Giron C Borz B Cribier A	CVIT2011	2011.7.21
18 Balloon Aortic Valvuloplasty: Long Term Outcome of Subsequent Treatments.	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B Godin M Giron C	CVIT2011	2011.7.22

演題	演者	学会	発表年月
	Borz B Cribier A		
19 Retrospective Analysis of Outcome in Patients who underwent Aortic Valvuloplasty as a Bridge-to-AVR in Highly-Experienced Center.	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B Godin M Giron C Borz B Cribier A	CVIT2011	2011. 7. 22
20 Bridge-Therapy using Combination of Balloon Aortic Valvuloplasty and Endovascular Aneurysm Repair for High-aged Severe Aortic Stenosis Patient with Multiple Comorbidities.	Furuta A Shimizu H Hachiya T Ohno Y Kawajiri H Kokaji K Kawamura A Yozu R Fukuda K	CVIT2011	2011. 7. 23
21 Retrospective Analysis of Outcome in Patients who have received Balloon Aortic Valvuloplasty by Indication as a Bridge-to-AVR in a Highly-Experienced-Center.	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B Godin M Giron C Borz B Cribier A	JCS2011 Featured Session	2011. 8. 3
22 Updated Technique, Indications and Immediate Haemodynamic Outcomes of Balloon Aortic Valvuloplasty for Severe Calcific Aortic Stenosis in a Highly-Experienced-Center.	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B	JCS2011	2011. 8. 3

演 題	演 者	学 会	発表年月
	Godin M Giron C Borz B Cribier A		
23 Less-frequency of Conduction Disturbances Requiring a Definitive Pacemaker after Edwards-Sapien Aortic Valve Implantation.	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B Godin M Giron C Borz B Cribier A	JCS2011	2011. 8. 3
24 Transcatheter Aortic Valve Implantation as Alternative to Emergent AVR.	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B Godin M Giron C Borz B Cribier A	JCC2011	2011. 9. 23
25 Discernment into Balloon Aortic Valvuloplasty as a bridge therapy in high-risk AVR.	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B Godin M Giron C Borz B Cribier A	JCC2011	2011. 9. 24
26 Combination of Balloon Aortic Valvuloplasty and Endovascular Aneurysm Repair for High-risk	Furuta A Shimizu H Hachiya T	JCC2011	2011. 9. 24

演 題	演 者	学 会	発表年月
Patient.	Ohno Y Kawajiri H Kokaji K Kawamura A Yozu R Fukuda K		
27 Balloon Aortic Valvuloplasty: Insight into Susequent Treatment and Lon Term Prognosis.	Furuta A Eltchanino ff H Bejar K Tron C Baala B Godin M Giron C Borz B Cribier A	JCC2011	2011. 9. 25
28 Angiographical Lesion Complexity Score and In-Hospital Outcome after Percutaneous Coronary Intervention: Analysis JCD-KICS Multicenter Resistry	Endo A Kohsaka S Miyata H Noma S Suzuki M Koyama T Momiyama Y Sueyoshi K Nishi Y Kawamura A Negishi K Matsubara T Ohki T Nakagawa S Fukuda K	第76回日本循環器学会	2012. 3
29 Impact of Bleeding of Incidence Contrast Induced Nephropathy in Patients Treated with Percutaneous Coronary Intervention.	Ohno Y Maekawa Y Miyata H Khosaka S Inoue S Ishikawa S	第76回日本循環器学会	2012. 3

演題	演者	学会	発表年月
	Sueyoshi K Shibata M Suzuki M Nishi Y Noma S Kawamura A Fukuda K		
30 Examination of Warfarin Dose Requirements by Using Genetic Diagnosis of SMAP Method	Namba T Sueyoshi K Ogino Y Furuta A Hui-Chong Li Yamagishi T Nishizawa K Akizuki S Alexander Lezhava Hayashizaki Y	第76回日本循環器学会	2012. 3
31 結腸癌治療中に発症したTrousseau症候群に対して、アルテプラゼ静注療法を施行した一例	木田 耕太 野崎 博之 今西 智之	第36回日本脳卒中学会総会	2011. 8. 1
32 赤痢アメーバ症に関する調査—2010年—	土井 賢治 坂本 光男 中島由紀子	第50回感染性腸炎研究会総会 東京	2011
33 Stevens-Johnson症候群（SJS）を契機に診断され、トキソプラズマ脳症を合併したAIDSの1例	滝沢 翼 中島由紀子 鈴木 悠太 鈴木 航太 坂本 光男 野崎 博之 岡野 裕 秋月 哲史 栗原 佑一 宮川 俊一	第70回神奈川県感染症医学会、 横浜	2011
34 急性虫垂炎と類似の臨床像を呈したHIV患者の赤痢アメーバ症の1例	毛部川真理 中島由紀子 戸澤 圭一	第580回日本内科学会関東地方 会 東京	2011. 5

演 題	演 者	学 会	発表年月
	水島大輔 坂本光男 岡野裕 秋月哲史		
35 未分化大細胞リンパ腫で発症した“いきなりAIDS”の一剖検例	中島由紀子 坂本光男 西和男 田口博章 野崎博之 秋月哲史	第60回日本感染症学会 東日本地方会 山形	2011
36 メロベネム個別投与設計を目的とした Time above MIC解析ソフトの活用	小林岳 大室綾 榎林敦 中島由紀子 中尾歩 坂本光男	第58回日本化学療法学会 東日本支部総会 山形	2011
37 HIV感染症と悪性腫瘍	中島由紀子	第6回横浜HIVカンファレンス 横浜	2011
38 HIV感染症と中枢神経疾患	中島由紀子	第4回神奈川HIVフォーラム 横 浜	2011
39 HIV感染症治療の基本	坂本光男	平成23年度神奈川県エイズ治療 拠点病院等連絡協議会 巡回協 議会 川崎	2012
40 針刺し事故への対応	中島由紀子	平成23年度神奈川県エイズ治療 拠点病院等連絡協議会 巡回協 議会 川崎	2012
41 当院におけるHIV検査の現状	坂本光男	平成23年度神奈川県エイズ治療 拠点病院等連絡協議会 AIDS医 療従事者研修会 横浜	2012
42 赤痢アメーバ症に関する調査 —2011年—	坂本光男 中島由紀子	第51回感染性腸炎研究会総会 東京	2012
43 腸管出血性大腸菌感染症におけるHUS/ 脳症合併状況に関する調査	坂本光男 中島由紀子 相楽裕子	第51回感染性腸炎研究会総会 東京	2012
44 2型糖尿病を合併した気道感染症の入院 期間に関する要因分析	津村和大 井上光子	第12回日本内分泌学会関東甲信 越支部学術集会	2011.3

演 題	演 者	学 会	発表年月
	伊藤 玲奈 高井久仁庸 倉崎康太郎 岡野 裕 秋月 哲史		
45 要望ビデオ：導入放射線化学療法後に上葉管状切除を行った若年者肺癌の1例	澤藤 誠 神山 育男 塚田 紀理	第28回日本呼吸器外科学会総会	2011.5
46 悪性胸膜中皮腫の診断を目的とした全身麻酔下胸腔鏡施行例の検討	澤藤 誠 神山 育男 塚田 紀理 小熊 剛 大森 奈緒	第34回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	2011.6
47 術前導入化学放射線療法後に肺全摘術を施行した3例	澤藤 誠 神山 育男	第52回日本肺癌学会総会	2011.11
48 Multimodal therapy for mediastinal nonseminomatous germ cell tumor with somatic-type malignancy with brain metastasis; Report of a case	Kamiyama I Tsukada M Sawafuji M	14 th World conference on lung cancer	2011.7
49 肺葉切除術における超音波凝固切開装置を用いた安全な肺門部露出法の試み	神山 育男 青木 耕平 塚田 紀理 澤藤 誠	第111回日本外科学会定期学術集会	2011.4
50 要望ビデオ：脳転移を伴った縦隔原発胚細胞性腫瘍に対し集学的治療の一環として腫瘍摘出術を施行した1例	神山 育男 塚田 紀理 澤藤 誠	第28回日本呼吸器外科学会総会	2011.5
51 手指潰瘍に対し胸腔鏡下胸部交感神経節切除術が奏功した2例	神山 育男 塚田 紀理 澤藤 誠	第34回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	2011.6
52 EBUS-TBNAが診断に有用であった前立腺癌の縦隔リンパ節転移の1例	神山 育男 福岡 聖大 小熊 剛 澤藤 誠	第52回日本肺癌学会総会	2011.11
53 小児特発性劇症肝不全例の病態に関する検討	入江 理恵 中澤 温子 中野 夏子 松岡健太郎	第100回日本病理学会総会	2011.4

演 題	演 者	学 会	発表年月
54 心筋梗塞発生の基盤となる心筋架橋が左冠状動脈前下行枝の内膜病変進展に及ぼす意義	石川由起雄 赤坂喜清 鈴木高祐 藤原美恵子 向井清 新野史 田中道雄 森永正二郎 小沼純子 下川伶子 緒方謙太郎 川原穰 杉浦仁 品川俊人 滝本寿朗 飯田(柳田)真岐 澁谷和俊 高橋啓 宇月美和 深澤(秋嶋)由里 石井壽晴	第100回日本病理学会総会	2011.4
55 喉頭表在癌に対する内視鏡治療の長期成績- ELPS (Endoscopic Laryngo-pharyngeal surgery) を中心に -	川久保博文 大森泰 杉浦仁	第97回日本消化器病学会総会	2011.5
56 骨・軟骨化生を伴った胃悪性腫瘍の一例	武居友子 平岩訓彦 壁島康郎 川久保博文 大森泰 入江理恵 杉浦仁	第66回日本消化器外科学会総会	2011.7
57 繰り返す消化管出血をきたした十二指腸動静脈奇形の1例	西山晃 佐藤宏朗 長谷川市郎 山本あゆみ 塚田実郎	第52回神奈川放射線医会例会	2011.9

演 題	演 者	学 会	発表年月
	成松 芳明 高木 英恵 杉浦 仁		
58 中下咽頭表在癌に対する内視鏡治療	川久保博文 大森 泰 北川 雄光 平岩 訓彦 小柳 和男 杉浦 仁	第49回日本癌治療学会学術集会	2011.10
59 小児特発性劇症肝不全例の病態に関する検討	入江 理恵 中澤 温子 佐藤 泰樹 中野 夏子 大喜 多肇 松岡健太郎 垣内 俊彦 福田 晃也 阪本 靖介 笠原 群生	第39回日本肝臓学会西部会	2011.12
60 多発性嚢胞と肺結節像が診断の契機となった多発性骨髄腫合併全身性アミロイドーシスの1例	渡邊 真広 小熊 剛 樹神 元博 宮川 義隆 福岡 聖大 大森 奈緒 鈴木 貴博 岡野 裕 入江 理恵 杉浦 仁	第584回日本内科学会関東地方会	2011.12
61 Pediatric fulminant hepatic failure of unknown etiology - A unique immune mediated mechanism of CD8-positive T-cell activation causing simultaneous bone marrow suppression.	Nakazawa A Irie R Matsuoka K Sakamoto S Kasahara M	United States & Canadian Academy of Pathology 2012 Annual meeting	2012.3
62 小児原因不明劇症肝不全の臨床病理学	中澤 温子 入江 理恵	第39回日本肝臓病学会西部会	2011.12

演 題	演 者	学 会	発表年月
	佐藤泰樹 中野夏子 大喜多肇 松岡健太郎 垣内俊彦 福田晃也 阪本靖介 笠原群生		
63 血中薬物測定3機種 (AXYM・ARCHITECT・BM2250)による基礎的検討	山口友子 斎藤顕子 関野祐子 大谷宏美 中原 務 麻生綱男 小矢田真理子 志村真知子 杉浦 仁	第48回関東甲信地区医学検査学会	2011.10
64 非筋層浸潤性膀胱癌に対する再発因子についての臨床的検討	服部盛也 白川 洋 小堺紀英 原 智	第99回日本泌尿器科学会総会	2011.4
65 去勢抵抗性前立腺癌における5-FU系経口抗癌剤S-1の抗腫瘍効果と低用量ドセタキセル併用による増強効果の機構解明	長谷川政徳 宮嶋 哲 小坂威雄 安水洋太 井手広樹 菊地栄次 大家基嗣	第99回日本泌尿器科学会総会	2011.4
66 THE VISCERAL TYPE OF ADIPOSE ACCUMULATION PREDICTS POTENTIAL TECHNICAL DIFFICULTIES WHEN PERFORMING LAPAROENDOSCOPIC SINGLE-SITE ADRENALECTOMY	Hasegawa M Miyajima A Jinzaki M Maeda T Takeda T Kikuchi E Oya M	Annual meeting of American Urological Association	2011.5
67 PREDICTION AND STRATIFICATION OF THE DEVELOPMENT OF URINARY RETENTION IN	Hasegawa M Nakashima J	Annual meeting of American Urological Association	2011.5

演 題	演 者	学 会	発表年月
PATIENTS WITH LOCALLY ADVANCED PROSTATE CANCER TREATED WITH HORMONE THERAPY	Yazawa S Kikuchi E Nagata H Miyajima A Oya M		
68 LOW DOSE DOCETAXEL ENHANCES THE SENSITIVITY OF S-1 IN A XENOGRAFT MODEL OF HUMAN CASTRATION RESISTANT PROSTATE CANCER	Hasegawa M Miyajima A Kosaka T Yasumizu Y Tanaka N Maeda T Shirotake S ide H Kikuchi E Oya M	Annual meeting of American Urological Association	2011.5
69 MCにおける再教育実習のあり方 救急救命士における静脈路確保の再教育の必要性の検討(会議録)	伊藤 壮一 高橋 俊介 郷内 志朗 齋藤 豊 大城 健一 権守 智 田熊 清継	第14回日本臨床救急医学会総会 (札幌)	2011.5
70 頭部外傷における転帰不良例の検討 (会議録)	権守 智 齋藤 豊 大城 健一 郷内 志朗 高橋 俊介 伊藤 壮一 田熊 清継	第14回日本臨床救急医学会総会 (札幌)	2011.5
71 γ -ブチロラクトンによる意識障害が疑われた1症例 (会議録/症例報告)	高橋 俊介 大城 健一 進藤 健 水堂 祐広 近藤 英樹 権守 智 竹村 成秀 齋藤 豊	第14回日本臨床救急医学会総会 (札幌)	2011.5

演 題	演 者	学 会	発表年月
	郷内志朗 伊藤壮一 田熊清継		
72 救急関連training courseの現状と展望 本邦におけるABLS(advanced burn life support)コース開催の 現状と展望(会議録)	佐々木淳一 織田 順 齋藤大蔵 田熊清継 武田多一 田中秀治 鳴海篤志 春成伸之 鈴木幸一郎	第14回日本臨床救急医学会総会 (札幌)	2011.5
73 外傷医を育てる教育と提言 大学と協 力施設の連携による外科系救急医の後 期研修医プログラム	並木 淳 佐々木淳一 田熊清継 金井歳男 小林健二 堀進 悟	第25回日本外傷学会(大阪)	2011.5
74 ERにおける医療安全を目的としたアク シデント事例に対する簡易RCA(Root Cause Analysis)の試み(会議録)	伊藤壮一 高橋俊介 郷内志朗 齋藤 豊 竹村成秀 権守 智 進藤 健 近藤英樹 春成 学 大城健一 田熊清継	第39回日本救急医学会総会・学 術集会 (東京)	2011.10
75 Horse-related injuryの14例 (会議録)	郷内志朗 田熊清継 進藤 健 近藤英樹 権守 智 竹村成秀 齋藤 豊 大城健一	第39回日本救急医学会総会・学 術集会 (東京)	2011.10

演 題	演 者	学 会	発表年月
	高橋 俊介 伊藤 壮一		
76 川崎市立川崎病院ERを受診した非外傷性鼻出血症例の検討(会議録)	権 守 智 齋 藤 豊 春 成 学 近 藤 英 樹 進 藤 健 竹 村 成 秀 大 城 健 一 郷 内 志 朗 高 橋 俊 介 伊 藤 壮 一 田 熊 清 継	第39回日本救急医学会総会・学術集会 (東京)	2011.10
77 遊戯施設から救急車で搬送となった症例の検討(会議録)	高 橋 俊 介 郷 内 志 朗 大 城 健 一 春 成 学 竹 村 成 秀 権 守 智 進 藤 健 近 藤 英 樹 伊 藤 壮 一 田 熊 清 継	第39回日本救急医学会総会・学術集会 (東京)	2011.10
78 救急搬送された自転車飲酒運転による交通外傷の検討(会議録)	春 成 学 権 守 智 齋 藤 豊 大 城 健 一 郷 内 志 朗 高 橋 俊 介 伊 藤 壮 一 田 熊 清 継	第39回日本救急医学会総会・学術集会 (東京)	2011.10
79 ERに搬送された急性薬物中毒入院患者の検討(会議録)	進 藤 健 春 成 学 近 藤 英 樹 権 守 智 竹 村 成 秀 齋 藤 豊	第39回日本救急医学会総会・学術集会 (東京)	2011.10

演 題	演 者	学 会	発表年月
	大城 健一 高橋 俊介 郷内 志朗 伊藤 壮一 田熊 清継		
80 ERへ搬送された抗NMDA受容体脳炎の3例	近藤 英樹 進藤 健 春成 学 権守 智 竹村 成秀 齋藤 豊 大城 健一 高橋 俊介 郷内 志朗 伊藤 壮一 田熊 清継	第39回日本救急医学会総会・学術集会 (東京)	2011.10
81 都市部救命救急センターにおける救急要請不応需の要因 遠方・重症度・時間帯・施設内要因の観点から(会議録)	大城 健一 権守 智 春成 学 進藤 健 竹村 成秀 近藤 英樹 齋藤 豊 郷内 志朗 高橋 俊介 伊藤 壮一 田熊 清継	第39回日本救急医学会総会・学術集会 (東京)	2011.10
82 運転中の交通事故の誘因となる 内因性疾患の検討(会議録)	田熊 清継 春成 学 進藤 健 近藤 英樹 権守 智 竹村 成秀 齋藤 豊 大城 健一 郷内 志朗 高橋 俊介	第39回日本救急医学会総会・学術集会 (東京)	2011.10

演 題	演 者	学 会	発表年月
	伊藤 壮一		
83 わが国の多施設共同調査研究、 レジストリーの成果とこれから 日本救急医学会Sepsis Registry Basic 版によるデータ収集と診療の質の評価 (会議録)	藤島清太郎 丸藤 哲 齋藤大蔵 真弓俊彦 久志本成樹 白石振一郎 小倉 裕 田熊清継 小谷穰治 池田弘人 山下典雄	第39回日本救急医学会総会・学 術集会 (東京)	2011.10
84 救急搬送におけるアンダーtriageジ 症例の検討(会議録)	齋藤 豊 春成 学 進藤 健 近藤英樹 権守 智 竹村成秀 大城健一 郷内志朗 高橋俊介 伊藤壮一 田熊清継	第39回日本救急医学会総会・学 術集会 (東京)	2011.10
85 川崎市立川崎病院救命救急センターで の入院加療を要した鼻出血症例の検討	権守 智 石垣孝司 春成 学 近藤英樹 進藤 健 竹村成秀 齋藤 豊 大城健一 郷内志朗 高橋俊介 伊藤壮一 田熊清継	日本救急医学会関東地方会	2012.2
86 消化管出血への対応： 人工血管十二指腸瘻の一例	竹村成秀 権守 智	日本救急医学会関東地方会	2012.2

演 題	演 者	学 会	発表年月
	石垣 孝司 春成 学 近藤 英樹 進藤 健 齋藤 豊 大城 健一 郷内 志朗 高橋 俊介 伊藤 壮一 田熊 清継		
87 救急隊CPRを救命士と医師が同時評価すると差が生じるか	大城 健一 齋藤 豊 石垣 孝司 春成 学 進藤 健 近藤 英樹 権守 智 竹村 成秀 郷内 志朗 高橋 俊介 伊藤 壮一 田熊 清継	日本救急医学会関東地方会	2012. 2
88 都市型ERにおけるインシデント/アクシデント症例の特徴	伊藤 壮一 大城 健一 齋藤 豊 石垣 孝司 春成 学 進藤 健 近藤 英樹 権守 智 竹村 成秀 郷内 志朗 高橋 俊介 田熊 清継	日本救急医学会関東地方会	2012. 2
89 抗VEGFモノクローナル抗体ベバシズマブの関与が疑われた顎骨壊死の1例.	安居 孝純 鬼澤 勝弘 蔭 山雄基	第56回日本口腔外科学会総会, 大阪	2011. 10

演 題	演 者	学 会	発表年月
	兵藤 朋子 岩崎良太郎 筋生田整治		
90 当院における単孔式全腹腔鏡下子宮全摘術について	安達 将隆 浅井 哲	第394回日本産科婦人科学会神奈川地方部会	2011.7
91 当院における高齢妊娠症例に関する検討	金 善惠 黒田 恵子 藪野 彰 浅井 哲 樋口 隆幸	第47回日本周産期・新生児医学会学術集会	2011.7
92 卵巣嚢腫合併妊娠に対する 妊娠中の腹腔鏡下手術の検討	樋口 隆幸 黒田 恵子 藪野 彰 金 善惠 浅井 哲	第47回日本周産期・新生児医学会学術集会	2011.7
93 単孔式全腹腔鏡下子宮全摘術におけるEZアクセス・ポートの有用性	浅井 哲 原田佳奈 宮本尚彦	第51回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	2011.8
94 全腹腔鏡下子宮全摘術における腔パイプ使用に関連した直腸損傷	浅井 哲 原田佳奈 岩田 壮吉 林 保良 中田さくら 宮本尚彦	第51回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	2011.8
95 診断用ヒステロファイバースコープにも使用可能な子宮内膜ポリープスネアシステムの開発	林 保良 鈴木 毅 原田佳奈 安達 将隆 黒田 恵子 藪野 彰 金 善惠 浅井 哲 樋口 隆幸 村越行高 染谷 健一 岩田 壮吉 宮本尚彦	第51回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	2011.8

演 題	演 者	学 会	発表年月
96 当院におけるポリープ状異型腺筋腫の 検討	藪野 彰 林 保良 浅井 哲 原田佳奈 鈴木 毅 安達将隆 黒田恵子 金 善恵 樋口隆幸 村越行高 染谷健一 岩田壮吉 中田さくら 宮本尚彦	第51回日本産婦人科内視鏡学会 学術講演会 大阪市・ リーガロイヤルホテル大阪 8.4 - 6	2011.8.6
97 卵巣膿瘍に対する腹腔鏡手術法の選択 について	黒田恵子 浅井 哲 鈴木 毅 原田佳奈 安達将隆 藪野 彰 金 善恵 樋口隆幸 村越行高 染谷健一 林 保良 岩田壮吉	第395回日本産科婦人科学会神 奈川地方部会 神奈川県川崎市・ 川崎日航ホテル	2011.9.17
98 レボノルゲストレル徐放剤 (LNG-IUD) で治療した子宮腺筋症症例について	原田佳奈 浅井 哲 鈴木 毅 安達将隆 黒田恵子 藪野 彰 金 善恵 樋口隆幸 村越行高 染谷健一 林 保良	第395回日本産科婦人科学会神 奈川地方部会 神奈川県川崎市・ 川崎日航ホテル	2011.9.17

演 題	演 者	学 会	発表年月
99 ダグラス窩深部子宮内膜症の全腹腔鏡 下子宮全摘術	安 達 将 隆 中田さくら 宮 本 尚 彦 浅 井 哲 原 田 佳 奈 鈴 木 毅 藪 野 彰 黒 田 恵 子 金 善 恵 樋 口 隆 幸 村 越 行 高 染 谷 健 一 林 保 良 岩 田 壮 吉	第395回日本産科婦人科学会神 奈川地方部会 神奈川県川崎市・ 川崎日航ホテル	2011. 9. 17
100 当院の単孔式全腹腔鏡下子宮全摘術 について	安 達 将 隆 浅 井 哲 原 田 佳 奈 鈴 木 毅 藪 野 彰 黒 田 恵 子 金 善 恵 樋 口 隆 幸 村 越 行 高 染 谷 健 一 林 保 良 岩 田 壮 吉 中田さくら 宮 本 尚 彦	第394回神奈川産科婦人科学会 学術講演会 神奈川県横浜市・ 横浜情報文化センター6階 情文ホール	2011. 7. 2
101 ダグラス窩深部子宮内膜症の全腹腔 鏡下子宮全摘術	安 達 将 隆 浅 井 哲 原 田 佳 奈 鈴 木 毅 藪 野 彰 黒 田 恵 子 金 善 恵 樋 口 隆 幸	第395回神奈川産科婦人科学会 学術講演会 神奈川県川崎市・ 川崎日航ホテル12階 東の間	2011. 9. 17

演 題	演 者	学 会	発表年月
	村越行高 染谷健一 林保良 岩田壮吉 中田さくら 宮本尚彦		
102 妊娠25週で早産を余儀なくされた特 発性子宮静脈瘤破綻出血の1例	安達将隆 樋口隆幸 原田佳奈 鈴木毅 藪野彰 黒田恵子 金善恵 浅井哲 村越行高 染谷健一 林保良 岩田壮吉	第5回日本早産予防研究会 東京都・慶應義塾大学病院	2011. 12. 3
103 年齢における卵子ミトコンドリアDNA copy数の重要性	村越行高 末岡浩 高橋香織 佐藤卓 櫻井友義 渡邊広是 田島博人 佐藤健二 中林章 久慈直昭 吉村泰典	第56回日本生殖医学会 神奈川県横浜市・ パシフィコ横浜	2011. 12. 8- 9
104 食道に強い炎症を認めた消化管アレ ルギーの1歳男児例	安藤枝里子 野村伊知郎 新井勝大 中澤温子 山本貴和子 二村昌樹 成田雅美 大矢幸弘	第23回日本アレルギー学会春季 臨床大会	2011. 5

演 題	演 者	学 会	発表年月
	岸 野 愛		
105 CTが診断に有用であった異物による口腔内刺創の2例	富田健太朗 安藤枝里子 朱 怡 中尾 歩 安藏 慎 佐藤宏朗 成松芳明 荒木康智	第47回日本小児放射線学会	2011.6
106 頸部単純X線写真側面像での咽頭後間隙肥厚：偽陽性例の検討	安藤枝里子 佐藤宏朗 榎林 敦 中尾 歩 高谷あゆみ 安藏 慎	第47回日本小児放射線学会	2011.6
107 化膿性筋炎の3例：臨床像とMRI 所見	土井賢治 安藤枝里子 湯山亮平 中尾 歩 安藏 慎 佐藤宏朗 高谷あゆみ	第47回日本小児放射線学会	2011.6
108 急性尿細管障害を合併した発作性寒冷色素尿症（PCH）の3歳男児例	富田健太朗 山口哲司 安藤枝里子 坂口友理 榎林 敦 松岡 恵 中尾 歩 安藏 慎	第313回日本小児科学会神奈川 県地方会	2011.11
109 汎用指示機能の改善による、操作性・視認性・安全性の向上	榎林 敦 杉田義博 木村博典 佐能 孝 高口浩一 村川和義 金川賢一	第31回医療情報学連合大会	2011.11

演 題	演 者	学 会	発表年月
110 臍ヘルニア嵌頓の乳児例	山口 哲 司 富田健太郎 坂 口 友 理 安藤枝里子 榎 林 敦 松 岡 恵 中 尾 歩 安 藏 慎	第314回日本小児科学会神奈川 県地方会	2012. 2
111 左側結腸の生理学的特徴を重視した 縫合不全の少ない低位前方切除術	壁島康郎, 他	第111回日本外科学会	2011. 4
112 左側結腸の生理学的特徴と直腸筋膜 温存を重視した縫合不全の少ない腹 腔鏡下直腸切除術	壁島康郎, 他	第66回日本消化器外科学会	2011. 7
113 Screening colonoscopyとしての細径 大腸内視鏡PCF-PQ260L/Iの有用性ー PCF260AI と比較した特徴と適応ー	壁島康郎, 他	第81回消化器内視鏡学会	2011. 5
114 CLINICAL ANALYSIS OF INDICATION FOR EMR, ESD, AND LAPAROSCOPIC SURGERY IN EARLY COLORECTAL CANCER	Kabeshima, Y, et al	International Surgical Week 2011	2011. 9
115 左側結腸生理機能と直腸筋膜温存を 重視した腹腔鏡下直腸切除術	壁島康郎, 他	第73回日本大腸肛門病学会	2011. 11
116 より安全なDSTを目指した手縫い吻合 に近いステープリングテクニック	壁島康郎, 他	第24回日本内視鏡学会	2011. 12
117 人手の要らない内視鏡下手術への取 り組みと工夫	壁島康郎, 他	第73回日本臨床外科学会	2011. 11
118 腹部大動脈腸骨動脈閉塞症に対し血 管内治療を施行した示唆に富む1例	小野 滋 司	第 29 回 Metallic Stents & grafts研究会	2011. 5. 21
119 傍腎動脈腹部大動脈瘤切迫破裂に対 し腹部分枝再建後にステントグラフ ト治療 (Hybrid Techniques)を施行し た1例	小野 滋 司	神奈川県末梢血管研究会	2011. 7. 11
120 A case of late complication of an inferior vena cava filter associated with caval, aortic, and duodenal perforation	Ono S	International Surgical Week	2011. 8. 29
121 臍頭十二指腸切除における臍空腸吻 合法～合併症ゼロを目指して～	市 東 昌 也 大 平 正 典	第111回日本外科学会定期学術 集会 (ポスター)	2011. 5

演 題	演 者	学 会	発表年月
	掛 札 敏 裕	東京（紙上開催）	
122 経時的な増大を示した疼痛発症の非出血性解離性椎骨動脈瘤に対する血管内治療	植田良 秋山武和 狩野忠滋 木村浩晃 堀越知 谷崎義生 赤路和則	第36回日本脳卒中学会総会	2011. 7. 30
123 当院における癌性髄膜炎の治療	片山真 植田良 竹中信夫 今西智之	第8回信濃町脳腫瘍セミナー	2012. 2. 18
124 交通外傷後の嗅覚・味覚障害	相 馬 啓 子 國 弘 幸 伸 伊 藤 ま り	第112回日本耳鼻咽喉科学会	2011. 5. 20
125 脳脊髄液減少症の診断と治療	國 弘 幸 伸 相 馬 啓 子	第112回日本耳鼻咽喉科学会	2011. 5. 20
126 重心動揺計を用いた動的平衡機能検査(Foulage test)の臨床応用	安 田 知 久 荒 木 康 智 衛 藤 憲 人	第112回日本耳鼻咽喉科学会	2011. 5. 20
127 嚥下障害をきたした慢性関節リウマチの1例	富 永 健 裕 相 馬 啓 子 荒 木 康 智	第45回慶浜耳鼻科研究会	2011. 6. 14
128 咽喉頭癌に対する経口的切除術 咽喉頭癌に対するELPS 鏡視下経口的手術用練習モデルを用いたELPSトレーニングの試み	佐 藤 靖 夫 荒 木 康 智 富 永 健 裕	第35回頭頸部癌学会	2011. 04. 16
129 脳脊髄液減少症における嗅覚・味覚障害 外傷性と特発性の比較	相 馬 啓 子 國 弘 幸 伸 伊 藤 ま り	第73回耳鼻咽喉科臨床学会	2011. 6. 23
130 鼻科手術におけるPGAシート(ネオベールシート)の使用経験	荒 木 康 智 佐 藤 靖 夫 相 馬 啓 子	第73回耳鼻咽喉科臨床学会	2011. 6. 23
131 脳脊髄液減少症に対する硬膜外自家血注入術のリスク	國 弘 幸 伸 相 馬 啓 子 堀 明 美	第73回耳鼻咽喉科臨床学会	2011. 6. 23
132 外傷後の聴覚障害の評価と高次脳機能	堀 明 美	第73回耳鼻咽喉科臨床学会	2011. 6. 23

演 題	演 者	学 会	発表年月
能	荒木康智 相馬啓子		
133 家族性大腸ポリポーシスに合併したCribriform-morula型甲状腺乳頭がんの1例	富永健裕 荒木康智 猪狩雄一	第156回日耳鼻神奈川県地方部会	2011.9.3
134 外耳道高吸収性ポリマー異物の1例	猪狩雄一 相馬啓子 富永健裕	第46回慶浜耳鼻科研究会	2011.9.13
135 補聴器によるTRTにおけるプログラム設定の検討	伊藤まり 相馬啓子 三並美香	第56回日本聴覚医学会	2011.10.27
136 外傷性めまい症例におけるSVVの検討	相馬啓子 國弘幸伸 荒木康智	第70回日本めまい平衡医学会	2011.11.16
137 中枢性平衡失調によるSVVの変化 脳卒中患者と末梢前庭障害患者のSVV差異について	荒木康智 國弘幸伸 相馬啓子	第70回日本めまい平衡医学会	2011.11.16
138 脳脊髄液減少症に対する硬膜外自家血注入術の手技	國弘幸伸 相馬啓子 美馬達夫	第70回日本めまい平衡医学会	2011.11.16
139 鼻性海綿静脈洞血栓症による多発脳神経症状を呈した一例	荒木康智 猪狩雄一 富永健裕	第49回日本神経眼科学会	2011.11.25
140 鼻性視神経症の予後とOnodi蜂巣	富永健裕 荒木康智 國弘幸伸	第50回日本鼻科学会	2011.12.1
141 耳性頭蓋内合併症で水頭症をきたした1例	富永健裕 荒木康智 猪狩雄一	第47回慶浜耳鼻科研究会	2011.12.13
142 慢性副鼻腔炎を起因として発症した海綿静脈洞血栓症の1例	猪狩雄一 相馬啓子 富永健裕	第157回日耳鼻神奈川県地方部会	2011.12.3
143 脳脊髄液減少症の診断とめまい	相馬啓子	川崎市耳鼻咽喉科医会	2012.1.14
144 再発性多発性軟骨炎における喉頭期間病変の初期像	猪狩雄一 荒木康智 富永健裕	第24回日本喉頭科学会	2012.3.20
145 耳鼻咽喉科領域におけるポリグリコ	富永健裕	第158回日耳鼻神奈川県地方部	2012.3.24

演 題	演 者	学 会	発表年月
ール酸シートとフィブリン糊を用いた創面被覆法の経験	荒木 康 智 猪狩 雄 一	会	
146 あたらしい電子麻酔記録CIS-ORのブ ロポフォールTCI施行時の総量概算機 能	高 山 涉 小松崎 崇 鎌田 高彰 村瀬 玲子 日山 敦子 増田 純一	日本麻酔科学会第58回学術集会	2011. 5. 19
147 あたらしい電子麻酔記録CIS-ORのコ スト請求に関する工夫	高 山 涉 神藤 篤史 鎌田 高彰 永井 美江 森田 慶久 増田 純一	日本麻酔科学会第58回学術集会	2011. 5. 19
148 あたらしい電子麻酔記録CIS-ORの自 動更新型リアルタイムスケジュール 機能についての報告	高 山 涉 荒木 奈帆 駒井 美砂 花上 まゆ 森田 慶久 増田 純一	日本麻酔科学会第58回学術集会 神戸	2011. 5. 19
149 新しいカフ形状をした気管チューブ のCPAPにおける垂れこみの検討	駒井 美砂 新美 敬太 豊永 晋也 高 山 涉 田中久美子 増田 純一	日本麻酔科学会第58回学術集会 神戸	2011. 5. 20
150 The influence of positive end-expiratory pressure on leakage around endtracheal tube cuff: an in vitro study	Komai M Kamada T Takayama W Morita Y Masuda J	Euroanaesthesia 2011 Amsterdam	2011. 6. 12
151 An electronic anesthesia recording system for cesarean sections	Nagai Y Takayama W Suzuki T Masuda J	The 15 th Annual Meeting of the Korean Society of Obstetric Anesthesia Seoul	2011. 6. 18
152 下部消化管穿孔による敗血症患者の 周術期管理の一例	三輪 桜子 鈴木 武志	日本麻酔科学会関東甲信越・東 京支部第51回合同学術集会	2011. 9. 10

演 題	演 者	学 会	発表年月
	神藤篤史 森田慶久 日山敦子 増田純一	幕張	
153 下顎枝矢状分割術による下顎骨移動が経鼻挿管におよぼす挿管困難性の変化	曾我部健 植村衣里 小林弘 神谷洋子 森川亜耶 太田桃子 大原大 鈴木将之 河原博	第39回日本歯科麻酔学会総会・ 学術集会	2011. 10. 8
154 下顎枝矢状分割術予定患者における術前経口補水療法の試み	福田瑠美 笹尾真美 神谷洋子 加藤礼子 尾崎貴子 妹尾美幾 河原博	第39回日本歯科麻酔学会総会・ 学術集会	2011. 10. 9
155 術前禁水時間の短縮を目的とした経口補水療法導入の取り組み	笹尾真美 福田瑠美 神谷洋子 加藤礼子 阿部佳子 野口いづみ 河原博	第39回日本歯科麻酔学会総会・ 学術集会	2011. 10. 9
156 新しい電動注射器の改良 ー開業歯科医院へのアンケート調査ー	深山治久 吉川文広 市川怜那 松下智子	第39回日本歯科麻酔学会総会・ 学術集会	2011. 10. 9
157 CEとしてNPPV導入からTPPV移行にかかわったALSの一症例	高森修平	第50回全国自治体病院学会 臨床工学技工部門	2011. 10. 19
158 妊娠に伴う抗NMDA受容体脳炎が疑われた患者の子宮内容除去術の麻酔経験	徳永茉実 豊永晋也 駒井美砂 高山涉	日本臨床麻酔学会第31回大会 沖縄	2011. 11. 4

演 題	演 者	学 会	発表年月
	宮下佳子 田中久美子 鈴木武志 増田純一		
159 重症筋無力症患者2症例の麻酔管理	三輪桜子 鈴木武志 駒井美砂 高山 涉 宮下佳子 田中久美子 増田純一 豊永晋也	日本臨床麻酔学会第31回大会 沖縄	2011. 11. 4
160 周術期患者情報一括管理の工夫 ～手術部門システムCIS-OR～	高山 涉 宮下佳子 駒井美砂 田中久美子 増田純一	日本臨床麻酔学会第31回大会 沖縄	2011. 11. 5
161 帝王切開麻酔等各種麻酔に適応した 当院の手術部門システム (電子麻酔記録) CIS-OR	永井美江 宮下佳子 高山 涉 増田純一	第115回日本産科麻酔学会 横浜	2011. 12. 3
162 リューズドタイプバイトブロックの 金属内筒が気管内異物となった一症 例	三輪桜子 駒井美砂 植松明美 鈴木武志 森田慶久 増田純一	神奈川麻酔科医会第43回学術集 会 横浜	2012. 2. 4
163 NPPVによる早期抜管の試み	豊永晋也 鈴木武志 駒井美砂 高山 涉 森田慶久 増田純一	第39回日本集中治療医学会学術 集会 幕張	2012. 3. 1
164 FPD搭載血管撮影装置における 回転方法の違いによる画質の検討	宮崎恭助 小林裕介 井上憲治 松本浩二	全国自治体病院学会 第50回記念大会	2011. 10. 20

演 題	演 者	学 会	発表年月
165 不明熱で発症した神経芽腫の12歳女児例	高谷あゆみ 佐藤宏朗 成松芳明 檜林 敦	第47回小児放射線科学会	2011. 6. 25
166 dual echo IR法によるT1・T2強調画像同時撮像シークエンスの考案： 小児脳における検討5	佐藤宏朗 成松芳明 小菅友也 引地利昭 附田博人	第70回日本医学放射線学会	2011. 5. 9-20 (web開催)
167 福島原発サーベイヤー活動報告(日本放射線技師会 放射線サーベイヤー派遣第10次隊)	三嶽 秀 介	第341回神奈川核医学研究会	2011. 7
168 福島原発事故における放射線サーベイヤー第10次隊の活動報告 - こころのサーベイ -	三嶽 秀 介	第27回診療放射線技師総合学術大会	2011. 9
169 肝胆道系術後交通性胆汁漏に対する胆道系IVRの有用性	塚田実郎 中塚誠之 井上正則 伊東伸剛 田村謙太郎 岩 渕 雄 松本一宏 栗林幸夫	第40回日本IVR学会総会	2011. 5. 19-21
170 Epithelioid angiomylipomaの画像所見	塚田実郎 陣崎雅弘 秋田大宇 谷本伸弘 杉浦孔明 奥田茂男 栗林幸夫	第25回腹部放射線研究会	2011. 6. 10-11
171 完全型遺残坐骨動脈瘤に対し、ステントグラフト留置術を施行した一例	塚田実郎 成松芳明 佐藤宏朗 渋谷慎太郎 小野滋司 掛札敏裕	第6回日本IVR学会 関東地方会	2011. 7. 9

演 題	演 者	学 会	発表年月
172 CTで術前診断可能であった 盲腸後窩ヘルニアの一例	塚田実郎 佐藤宏朗 西山晃 高谷あゆみ 長谷川市郎 成松芳明	神奈川県放射線医会	2011.9.7
173 総腸骨動脈尿管瘻の一例	塚田実郎 成松芳明 佐藤宏朗	第436回東京アンギオ・IVR会	2011.10
174 DVTで発症した骨盤内腫瘍の1例	西山晃 佐藤宏朗 塚田実郎 山本あゆみ 長谷川市郎 成松芳明 小野滋司 渋谷慎太郎 掛札敏裕	第1回神奈川VTE研究会	2011.11
175 甲状腺シンチグラフィで経験した一 例	小切孝洋	第343回神奈川核医学研究会	2011.10
176 CT検査における被ばく線量 (CTDI) について	小切孝洋	X線装置研究会 緑陰講座	2011.7.30
177 123I-MIBG副腎髄質Scintigraphyにお けるneuroblastomaの一例	秋山剛	第343回神奈川核医学研究会	2011.10
178 脳血流シンチでの失敗例報告	大森佳昭	第343回神奈川核医学研究会	2011.1
179 Time above MIC 解析ソフトを用いた MEPMの適正使用調査	大室綾 小林岳 早川和宏 矢野裕一 坂本光男	第21回日本医療薬学会年会	2011.10
180 川崎市立川崎病院における実務実習 生受入への取組と今後の課題～実習 プログラムと評価を中心に～	小林岳 豊田恵子 三井みゆき 矢野裕一	全国自治体病院学会台50回 記念大会	2011.10
181 川崎市立川崎病院における実務実習 生受入への取組と今後の課題～ 実習終了後のアンケート集計結果を	豊田恵子 小林岳 三井みゆき	全国自治体病院学会台50回 記念大会	2011.10

演 題	演 者	学 会	発表年月
中心に～	矢野 裕一		
182 メロペネム個別投与設計を目的としたTime above MIC 解析ソフトの活用	小林 岳 大室 綾 榎林 敦 中島由紀子 中尾 歩 坂本光男	第60回日本感染症学会東日本地方会学術集会・ 第58回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会	2011.10
183 Antineoplastic drug exposure evaluation in dispensary	湧井 宣行 早川 和宏 阿部 正視 三井みゆき 矢野 裕一	第5回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム	2011.11
184 川崎市立川崎病院における実務実習生受入への取組と今後の課題	豊田 恵子 小林 岳 三井みゆき 矢野 裕一	日本薬学会第132年会	2012.3
185 発熱性好中球減少症におけるメロペネムの使用実績調査	大室 綾 小林 岳 早川 和宏 矢野 裕一 坂本光男	日本薬学会第132年会	2012.3
186 近赤外線分光法(NIRS)を用いた脳卒中患者の運動実行、運動イメージ課題の違いによる脳血流変化の検討	伊藤 真梨 新藤恵一郎 太田直樹 阿部 玲音 堀田富士子 里 宇明元	日本リハビリテーション医学会	2011.6
187 HANDS therapyによる脳卒中片麻痺上肢の日常生活での使用頻度の変化・3次元加速度計による検討セミナー	伏屋 洋志 川上路華 沖塩 尚孝 補 永 薫 宇内 景 辻 哲也 長谷公隆 木村彰男 藤原俊之 里 宇明元	第48回日本リハビリテーション医学会学術集会	2011.11

演 題	演 者	学 会	発表年月
188 Hybrid Assistive neuromuscular dynamic stimulation (HANDS) therapy による上肢運動機能改善の検討	藤原 俊之 補 永 薫 伏屋 洋志 沖塩 尚孝 辻 哲也 長谷 公隆 木村 彰男 里 宇明元	第48回日本リハビリテーション 医学会学術集会	2011.11
189 川崎病院におけるがんのリハビリテーション	増井 和行 田邊 亜矢 伏屋 洋志 佐藤 栄司 菅野 詩子 堀 奈生子 堀 和美 木下 由佳	第28回リハビリテーション医療 懇話会	2011.7.2
190 人工膝関節置換術後早期に第1中足骨脆弱性骨折を生じた2例	尾崎 正大 原藤 健吾	第3回JOSKAS	2011.6
191 末期変形性膝関節症患者を運動器不安定症にする因子は何か?	原藤 健吾	第60回東日本整形災害外科学会	2011.9
192 円板状半月を有する患者の歩行中における膝関節動態解析	原藤 健吾	第38回日本臨床バイオメカニクス学会	2011.11
193 Three-dimensional knee kinematics in patients with lateral discoid meniscus during gait	Harato K	第58回Orthopaedic Research Society	2012.2
194 What is the important factor related to the knee pain during the postoperative rehabilitation after the surgery for the fracture of the proximal femur?	Harato K	第58回Orthopaedic Research Society	2012.2
195 運動靴が膝関節キネマティクスに与える影響	谷川 英徳 原藤 健吾 ほか	第38回日本臨床バイオメカニクス学会	2011.11
196 Wearing athletic footwear alters sagittal plane knee mechanics in walking and running	谷川 英徳	第58回Orthopaedic Research Society	2012.2
197 キアリ骨盤骨切り術後の長期成績	大久保 匡	第84回 日本整形外科学会学術	2011.5

演 題	演 者	学 会	発表年月
	藤田 貴也 ほか	総会	
198 Triple Osteotomyの長期成績	大久保 匡 藤田 貴也 ほか	第38回日本股関節学会	2011. 10
199 変形性関節症軟骨における Semaphorin 3Aの発現とVEGF165による 軟骨細胞遊走における競合について	大久保 匡 木村 徳広 ほか	第26回日本整形外科学会基礎学 術集会	2011. 10
200 末節骨背側脱臼骨折に対してワイヤ ーを用いた骨片の締結固定術を施行 した1例	森重雄太郎 越智 健介 森田 晃造 ほか	第17回神奈川上肢の外科研究会	2011. 10. 22
201 治療に難渋した肘関節脱臼に伴う上 腕骨内側上顆骨折の1例	金子 陽介 越智 健介 森田 晃造 ほか	第17回神奈川上肢の外科研究会	2011. 10. 22
202 小児期上腕骨顆上骨折に合併した正 中・尺骨神経麻痺が改善を認めなかつ た1例	河野 友祐 堀内 行雄 小柳 貴裕 ほか	第52回関東整形災害外科学会	2012. 3. 23
203 Stage3, 4のキーンバック病に対する骨 釘移植術 —手術後5年以上経過例の中期成績—	池上 博康 堀内 行雄 中村 俊康 ほか	第54回日本手外科学会学術集会	2011. 4. 15- 16 web
204 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキ ングプレート固定術後抜釘時所見の 検討—合併症回避のために—	森田 晃造 堀内 行雄 越智 健介 ほか	第54回日本手外科学会学術集会	2011. 4. 15- 16 web
205 関節リウマチの手指伸筋腱皮下断裂 の治療 —手術後10年以上経過した例での検討—	池上 博康 石黒 隆 堀内 行雄 ほか	第54回日本手外科学会学術集会	2011. 4. 15- 16 web
206 特発性前骨間神経麻痺の外科的治療 経験 —小皮切と通常皮切との比較—	越智 健介 堀内 行雄 田崎 憲一 ほか	第54回日本手外科学会学術集会	2011. 4. 15- 16 web
207 重度母指形成不全に対する母指温存	高山真一郎	第84回日本整形外科学会学術総	2011. 5. 12-

演 題	演 者	学 会	発表年月
治療の治療成績と意義	関 敦 仁 堀 内 行 雄 ほか	会	5. 15 web
208 K-NOW、その理由と問題点	関 敦 仁 池 上 博 康 堀 内 行 雄 ほか	第84回日本整形外科学会学術総 会	2011. 5. 12- 5. 15 web
209 特発性後骨間神経麻痺39例に対す る外科的治療成績	越 智 健 介 堀 内 行 雄 田 崎 憲 一 ほか	第84回日本整形外科学会学術総 会	2011. 5. 12- 5. 15 web
210 末梢神経損傷診断における脱神経筋 MRIの有用性	山 部 英 行 中 村 俊 康 堀 内 行 雄 ほか	第84回日本整形外科学会学術総 会	2011. 5. 12- 5. 15 web
211 関節リウマチの手指伸筋腱皮下断裂 の治療 —手術後10年以上経過した例での検討—	池 上 博 康 石 黒 隆 堀 内 行 雄 ほか	第84回日本整形外科学会学術総 会	2011. 5. 12- 5. 15 web
212 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロック ングプレート固定術後抜釘時所見の 検討—合併症回避のために—	森 田 晃 造 堀 内 行 雄 小 柳 貴 裕 ほか	第84回日本整形外科学会学術総 会	2011. 5. 12- 5. 15 web
213 Clinical results of palmar plating for distal radius intra-articular fractures with polyaxial Locking plate	Morita K Horiuchi Y Morita W et al	The 12th EFORT Congress meeting	1-Jun-11 Copenhagen Denmark
214 橈骨遠位端骨折手術における合併症 と対策 —創外固定法・掌側ロックングプレ ート法において—	森 田 晃 造 堀 内 行 雄 山 中 一 良 ほか	第37回日本骨折治療学会	2011. 7. 1
215 関節リウマチの手指伸筋腱皮下断裂 の治療 —手術後10年以上経過した例での検討—	池 上 博 康 石 黒 隆 堀 内 行 雄 ほか	第55回日本リウマチ学会総会	2011. 7. 17- 20
216 リウマチ性手指関節炎に対する Avantaシリコン製人工関節の治療成	森 田 晃 造 堀 内 行 雄	第55回日本リウマチ学会総会	2011. 7. 17- 20

演 題	演 者	学 会	発表年月
績	越智健介		
217 SAPHO症候群における治療法の検討	矢部寛樹 小柳貴裕 堀内行雄 ほか	第55回日本リウマチ学会総会	2011.7.17-20
218 肘部管症候群患者における尺骨神経の伸張度変化 ー神経剥離術の効果ー	越智健介 堀内行雄 森田晃造 中道憲明	第22回日本末梢神経学会	2011.9.2-3
219 長母指伸筋腱を切離しない母指伸展機能再建術の試み	越智健介 堀内行雄 森田晃造 ほか	第22回日本末梢神経学会	2011.9.2-3
220 腕相撲により生じた上腕二頭筋腱遠位部断裂の1例	森田 亘 森田晃造 越智健介 堀内行雄	第37回日本整形外科スポーツ医学会学術集会	2011.9.23
221 関節リウマチ肘におけるnon-linked型K-NOW人工肘関節の使用経験	越智健介 堀内行雄 川島秀一 ほか	第24回日本肘関節学会	2012.2.18
222 コンパートメントを越えて増大した前腕巨大脂肪腫の3例	河野友祐 吉川泰弘 堀内行雄 ほか	第26回東日本手外科研究会	2012.3.3

9 マ ス コ ミ

演 題	演 者	放送局・新聞社	年月日
1 SHDインターベンション	古 田 晃	医学書院	2011.11.2
2 けんこう新聞「動脈硬化」	末吉浩一郎	神奈川新聞	2011.7.20
3 大腸癌は怖くない お腹を切って癌を治す	壁 島 康 郎	神奈川新聞	2012.3

10 そ の 他

氏 名	タイトル・テーマ等	関係事項	年月日
1 齋藤寿昭	第2回川崎精神病理研究会	演題「15年間引きこもりの後、身体症状を主訴に受診した1例」 講師 武士清昭 上記につき指定発言を担当	2011. 2. 24
2 相馬響子	急性虫垂炎の病理組織分類と超音波画像の検討	全国自治体病院協議会雑誌2011年5月号、全国自治体病院学会臨床検査臨床工学分科会推薦優秀演題	2011. 5
3 守屋久子 畠山みり	日本マタニティフィットネス協会主催「血糖(SMBC)」測定	社団法人日本臨床衛生検査技師会依頼	2011. 7. 16
4 殿岡弘敏	神奈川県臨床検査技師会微生物研究班実技講習会「腸管系感染症関連細菌の検査」	講義兼実技講師	2011. 10. 22-23
5 畠山みり	定期検査で病状をチェック！	糖尿病市民講座	2011. 11. 15
8 原 智	病院紹介と最近の取り組み（腹腔鏡下前立腺全摘除術）	第8回川崎泌尿器疾患懇話会	2011. 11. 24
9 田熊清継	本邦におけるスキンバンクの現状	第20回日本熱傷学会講習会（東京）座長	2011. 6. 1
10 田熊清継	一般演題（口演）「ER（その他）」	第39回 日本救急医学会総会（東京）座長	2011. 10. 19
11 田熊清継	一般演題（口演）「プレホスピタル」	第62回日本救急医学会関東地方会（東京）座長	2011. 2. 4
12 大城健一	初期研修オリエンテーション	左記4週間プログラムの企画運営	2011. 4
13 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、院外医療行為について	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2011. 5. 25
14 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、外傷性窒息について	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2011. 6. 29
15 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、熱中症について	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2011. 7. 22
16 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、熱中症について	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2011. 8. 24
17 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、院外医療とメディカルコントロール	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2011. 9. 14
18 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、ニコチン中毒について	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2011. 10. 25
19 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、救命士の評価とは	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2011. 11. 29

氏名	タイトル・テーマ等	関係事項	年月日
20 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、OTC中毒、脱法ハーブについて	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2012.1.19
21 田熊清継 大城健一	CPAと特定行為、偶発性低体温について	川崎市消防局3次検証会・症例検討会	2012.2.19
22 伊藤壮一	病態生理学	川崎市立看護短大	2012.6
23 坂本光男 中島由紀子	HIV感染症 診断と治療のポイント Vol.1 急性HIV感染症	アボットジャパン株式会社 東京	2011
24 中島由紀子 坂本光男	HIV感染症 診断と治療のポイント Vol.2 いきなりAIDS	アボットジャパン株式会社 東京	2012
25 津村和大	川崎区糖尿病UP DATE講演座長	糖尿病地域連携	2011.10
26 津村和大	第37回明日からの実践に役立つ川崎市糖尿病セミナー座長	糖尿病地域連携	2011.10
27 津村和大	2011年度神奈川県糖尿病協会ウォークラリー運営	神奈川県糖尿病協会	2011.10
28 津村和大	第4回神奈川県糖尿病デー市民講演会運営責任者・総合司会	神奈川県糖尿病対策推進会議	2011.11
29 津村和大	第15回日本病態栄養学会年次学術集会座長	日本病態栄養学会	2012.1
30 津村和大	第4回神奈川県糖尿病協会食事勉強会座長	神奈川県糖尿病協会	2012.2
31 津村和大	第15回川崎糖尿病市民講座運営責任者・総合司会・座長	川崎糖尿病懇話会	2012.3
32 津村和大	平成23年度川崎市内科医会学術講演会特別講演座長	川崎市内科医会	2012.3
33 津村和大	糖尿病診療up to date特別講演座長	糖尿病地域連携	2012.3
34 相浦浩一	ミニシンポジウム 十二指腸乳頭機能・病態	第97回日本消化器病学会総会 司会	2011.5
35 相浦浩一	一般ポスターセッション 肝臓 転移性肝癌	第23回日本肝胆膵外科学会・学術集会 座長	2011.6
36 Aiura K	Poster sessions 3P	21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists Chairperson	2011.11
37 Aiura K	Poster Walk Pancreas 4	44th International Surgical Week	2011.8

氏名	タイトル・テーマ等	関係事項	年月日
		(ISW2011) Moderator	
38 市東昌也	一般演題	第44回神奈川県消化器病医学会総会 新横浜プリンスホテル, 新横浜	2011. 10. 15
39 市東昌也	一般演題	第131回肝胆膵疾患研究会 ホテルキャメロットジャパン, 横浜	2011. 11. 17
40 小野滋司	第131回神奈川県臨床外科医学会 集談会	セッション1 座長	2011. 9. 24
41 小野滋司	第123回神奈川県慶應関連病院外 科研究会	第6～9演題 座長	2011. 11. 8
42 今西智之	くも膜下出血は予防できる	東京商工会議所目黒支部蓼科研究会 蓼科フォーラム	2011. 11. 6
43 増田純一	分科会だより—神奈川県麻酔科医会	神奈川県医師会報 738号 76	2011. 8
44 永井美江	韓国産科麻酔学会で評価が高かつ た、市立川崎病院の手術部門シス テムについて	川崎市医師会会報 319号 55～57	2011. 9
45 塚田実郎	放射線専門医取得		2011. 7
46 三嶽秀介	放射線サーベイヤー 第10次隊派遣	内閣府原子力安全委員会 日本放射線技師会	2011. 4
47 三嶽秀介	日本核医学技術学会関東地方会 平成23年度 監事	日本核医学技術学会関東地方会	2011. 5
48 三嶽秀介	第343回神奈川県核医学研究会 「症例検討会」司会	神奈川県核医学研究会	2011. 10
49 三嶽秀介	第31回日本核医学技術学会総会学 術大会 電子情報委員	日本核医学技術学会	2011. 10
50 小野欽也	放射線管理実務講習会 司会	神奈川県放射線管理士部会	2011. 11
51 駒場瑠美子	針刺し1 一般演題 口演座長	第27回日本環境感染学会総会	2012. 2. 4
52 駒場瑠美子	感染管理認定看護師による 相談コーナー アドバイザー	第14回神奈川県看護学会	2011. 12. 3
53 駒場瑠美子	VRE対策会議 外部委員	藤沢市民病院	2011～2012 6回
54 駒場瑠美子	MDRP調査対策委員会 外部委員	横浜医療センター	2012. 3. 1

11 追補（病院年報46号に載せられなかった平成22年度業績）

5 刊行論文

著者	論文名	掲載誌			刊行年月
		誌名	巻(号)	頁	
1 松山 健 長 秀男 山本敬一 関根孝司 森 一越 池田昌弘 本田雅敬	先天性腎性低尿酸血症患児におけるMAG3%uptake値が真の有効腎血漿流量（ERPF）を反映しているか	小児科臨床	63(7)	1629-1633	2010.7
2 Narumi S Cho H Tamada I Kozu Y Tsuchiya T Nagai T Hasegawa T	One novel and two recurrent THRB mutations associated with resistance to thyroid hormone: structure-based computational mutation prediction	Clin Pediatr Endocrinol	19(4)	91-99	2012.12
3 花上まゆ (麻醉科)	Characterization of S100A11, a suppressive factor of fertilization, in the mouse female reproductive tract.	Mol Reprod Dev.	78(2)	91-103	2011.2

12 院内講演会

回	実施日	講師	講演内容
1	平成23年 4月	内部講師 三 嶽 秀 介	福島県 放射線サーベイヤーの活動に参加して
2	平成23年 4月	内部講師 小 野 欽 也	放射線・放射能を正しく理解するために
3	平成23年 6月6日 8月10日 10月30日 12月10日 1月11日 3月6日	内部講師 津村和大、阿部正視、 神田雅子、北田伸子 外部講師 サトサポート・インスティテュート 社員	「臨床研究」と「治験」の支援体制 (GCP認定講習会を兼ねる)

回	実施日	講師	講演内容
4	平成23年 6月13日	内部講師 駒場 瑠美子	感染防止技術Q&A ～基礎知識からエビデンスまで～
5	平成23年 6月18日 6月22日	川崎区保健福祉センター 池田 智宏、山本 義明	食中毒予防研修会
6	平成23年 6月20日	内部講師 佐山 宏一	胸腔ドレーン管理
7	平成23年 7月14日	内部講師 中島 由紀子	針刺事故とHIV感染症
8	平成23年 7月26日	内部講師 清水谷 弘美	特別食(治療食)勉強会
9	平成23年 8月18日	内部講師 亀山 亜希夫	えん下食勉強会
10	平成23年 8月25日	内部講師 小林 岳	PK-PD理論に基づいた抗菌薬の適正使用
11	平成23年 9月26日	臨床工学技士	呼吸器学習会
12	平成23年 10月	院外講師	接遇研修会
13	平成23年 10月14日	内部講師 植林 敦	みんなのワクチン
14	平成23年 10月17日	事業者	輸液シリンジポンプの正しい使い方とヒヤリハット
15	平成23年 11月	院長、事務局長、委員、 感染管理認定看護師	ボランティア教育研修会
16	平成23年 11月14日	内部講師 殿岡 弘敏	細菌検査結果の見方～検体採取から結果報告まで
17	平成23年 11月29日	院外講師	VTE医療安全セミナー
18	平成24年 1月31日	内部講師 小林 岳 殿岡 弘敏	当院における抗菌薬と細菌感受性率
19	平成24年 2月	内部講師	接遇研修会
20	平成24年 2月1日	院外講師 Kim Delahanty	CDCガイドライン改訂でここが変わった 米国のCAUTI対策
21	平成24年 2月21日	各医療安全推進員	医療安全活動報告会

年報編集委員会

委員長	事務局長	高井 敏雄	委員	薬剤部	坂井 義則
副委員長	看護部	岡本 朋江	〃	食養科	堀口 育子
委員	〃	上田 今日子	〃	庶務課	高橋 智常
〃	〃	藤原 実香	〃	〃	渡邊 由路
〃	消化器内科	高木 英恵	〃	〃	麻賀 裕一郎
〃	産科・婦人科	金 善恵	〃	医事課	竹田 和也
〃	教育指導部	玉井 博修	〃	〃	奥 知子
〃	放射線診断科	大森 佳昭	書記	庶務課	宮下 拓
〃	検査科	鈴木 玲子			

編集後記

平成23年度は、節電効果を加えても猛暑時の電力をまかなえるか不安を抱えながら緊張の夏を過ごしました。また、台風15号のため電車が止まり、帰宅困難者が多く発生し、都市機能のマヒを再び経験することになりました。

東日本大震災の後に、神奈川県津波浸水想定検討部会が津波予想図を公表いたしました。その中に津波対策の見直しが必要となる地域として川崎市も挙げられておりました。

まさに、防災に強い関心が集まった年度でありました。今後も防災への意識が高まり、災害に強い病院としての備えがますます重要になってまいります。

岩手県譜代村では15.5mの水門と防潮堤が、東日本大震災の津波を食い止めました。これは明治三陸津波、昭和三陸津波の被害の経験に学び、三度目は何とか防ぎたいとの強い気持ちによるものと思われます。その土地に生きる人の知恵、過去の記録、土地の歴史を大事にした結果だと思えます。

この年報の記録も継続して行く事により、今後の病院のあり方を考える上で参考となり、指針となれば幸いです。

年報の刊行にあたり、御多忙のなか御協力をいただきました関係者並びに編集委員の皆様へ深く感謝と御礼を申し上げます。

年報編集委員長 高井 敏雄

川崎市立川崎病院年報
第47号（平成23年度版）
平成24年11月9日発行
編集・発行 川崎市立川崎病院
〒210-0013 川崎市川崎区新川通12番1号
電話 044 (233) 5521(代)
FAX 044 (245) 9600
川崎病院ホームページ
(<http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/kawasaki/index.html>)
印刷所 情報印刷株式会社